

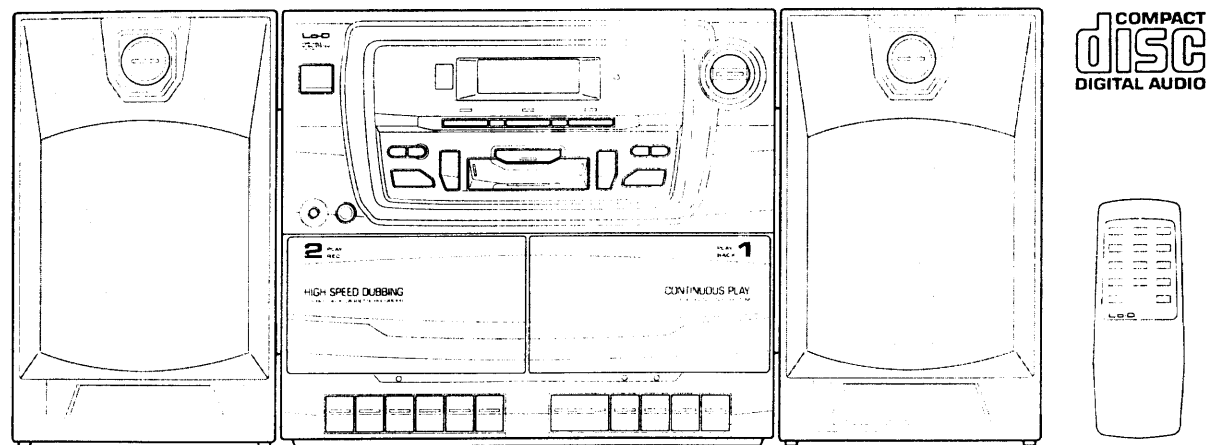
取扱説明書

HITACHI
— 品質を大切にする(技術の日立) —


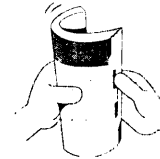

日立CDラジオカセットレコーダー CX-7W形

このたびは、日立CDラジオカセットレコーダーをお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共にいつでも見られる所に大切に保管してください。

Lo-D



この取扱説明書の見かた


- 目次は  ページをご覧ください。
- 主な操作は  右側についている
耳でさがせます。
-  マーク付きの操作は リモコンでも操作できます。

お客様メモ：サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ—

 株式会社 日立製作所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03) 3502-2111

3828SNA028B

目次

	ページ
は じ め に	安全上のご注意 (必ずお読みください) 3~6
	一般的なご注意 7
	特長 8
	接続のしかた 9
	スピーカーの取り付け・取りはずしかた・スピーカーコード・外部機器との接続
	電源について 10~11
	ご家庭のAC100V電源で使うとき・バックアップ用乾電池の入れかた・乾電池で使うとき
	各部の名称 12~13
	本体前面・ディスプレイ・本体後面
	リモコンの使いかた 14~15
C D 演 奏	各部の名称とはたらき
	現在時刻の合わせかた 16~17
	操作をする前に 18~20
	電源ボタンについて・ファンクション切り換えのしかた・オートファンクション機能について・音量調節のしかた・音質調節のしかた・重低音の効いた迫力のある音で聴くには・ヘッドホンでお聴きになるときは
	コンパクトディスクについて 21
	CD演奏 22~23
	1曲目から演奏を始めるには
	CD演奏の便利な使いかた 24~27
	好きな曲から演奏を始めるには ダイレクト演奏 ・演奏中にすばやく好きなところをさがすには マニュアルサーチ ・演奏中に好きな曲へ飛ぶには スキップ演奏 ・好きな曲を選び好きな順番で演奏するには プログラム演奏 ・くり返し演奏するには リピート演奏
	放送
放送の受信 28~31	
放送の受信・プリセットのしかた・プリセット選局	
テープ再生	
再生・録音を始める前に 32~33	
カセットテープの入れかた・カセットテープの取り出しかた・カセットテープについて	
テープ再生 34~35	
再生してみましょう・TAPE 1、TAPE 2を連続して再生するには 連続再生	
テープ録音 36~37	
録音してみましょう	
録音の便利な使いかた 38	
ワンタッチでディスクを録音するには CDシンクロ録音	
ダビングのしかた 39	
マイクミキシングを楽しむには 40	
マイクミキシングのしかた・マイクミキシング録音のしかた	
タイマー再生のしかた 41~44	
スリープタイマー 45	
スリープタイマーの設定のしかた	
故障かな?と考える前に 46~47	
仕様 48	
保証とアフターサービス (必ずお読みください) 49	
著作権について 50	
その他	

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用の前に>

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと) が描かれています。

警告

■万一異常が発生したら

●万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く



●万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

●万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

安全上のご注意 (つづき)

警告

■表示以外の電圧で使用しないでください

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。



■液体の入った容器などを置かないでください

●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■風呂場などでは使用しないでください

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

●本機に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

■雷が鳴り出したら

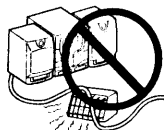
●雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



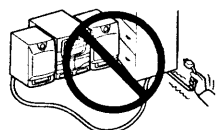
接触禁止

■電源コードを大切に

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあるので注意してください。



●電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■異物を入れないでください

●本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク収納部などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



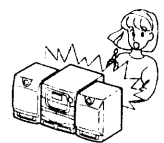
●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

■ふたをはずしたり、改造しないでください

●本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

安全上のご注意

警告

■電池について

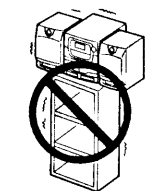
●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



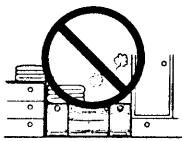
注意

■ご使用になる場所について

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの裏や底部などに通風孔があげてあります。次のような使い方はしないでください。



- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。



●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



●本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



■電源コードを粗雑に扱わないでください

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



■持ち運ぶときのご注意

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

●持ち運びするときはアンテナをたたくしないでください。伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。



安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

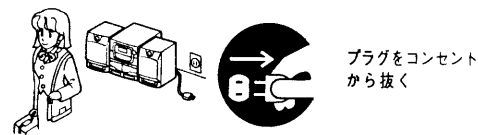
■電池の使用は

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 長期間使用しないとき、常時AC電源でご使用になるときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて、火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。



■長期間ご使用にならないとき

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■接続について

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



■特に小さなお子様のいるご家庭では

- 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



- お子様がかセットテープ、ディスク収納部に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



指を挟まれないよう注意

■音量について

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



■レーザー光源について

- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



■ディスク使用時のご注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



■日頃のお手入れについて

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

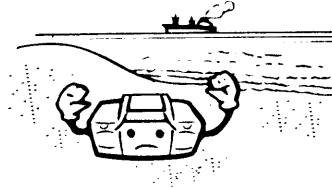


一般的なお注意

使用上のご注意

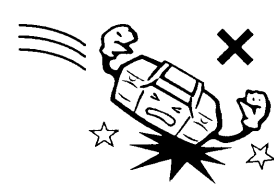
砂は禁物

海辺や砂地では使用しないでください。砂などが内部に入ると故障の原因になります。

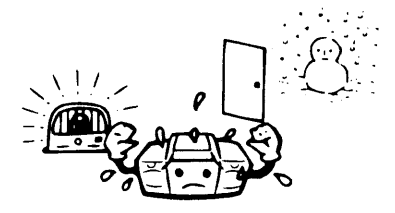


衝撃を与えないでください

落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。



温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露について

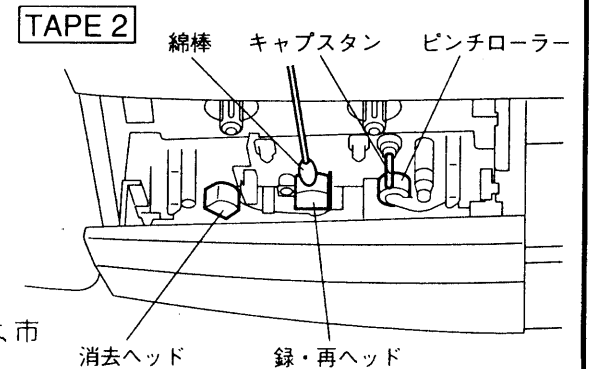
冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて(結露現象)、正しく動作しないことがあります。このような場合には1~2時間待ってから使用してください。



ヘッドの清掃

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面ががしだいに汚れます。汚れたままですと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用したら、次の手順でヘッドの清掃を行なってください。

- ① 電源を切り、停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開けます。
 - ② 綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。
- **ヘッドの消磁について**
長時間使用して、高域が低下したり、雑音が出たりしたときは、市販のヘッド消磁器でヘッドの消磁を行なってください。



超音波加湿器の使用について

本機の周囲での超音波加湿器の使用は避けてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用しますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがあります。

本機内のレンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正確な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。詳細は、サービスマンにご相談ください。

特長

■3ピースセパレート

スピーカー部を取り外すことができますので、本棚、机の上など置かた自在です。

■ワイヤレスリモコン

付属のワイヤレスリモコンにより、音量調節や電源、CD、放送の操作が本体から離れていても可能です。

■タイマー内蔵

放送、CDからお好みのソースで目覚まし再生ができます。また、スリープタイマーを内蔵していますので、ラジオやCD、テープを聴きながらおやすみになることもできます。

チューナー部

■AM/FMワイド受信デジタルシンセサイザーチューナー

AM/FM/TV (1~3ch) が受信できるオートチューニング機能付きデジタルシンセサイザーチューナーです。

■30局プリセットメモリー

合計30局がプリセットメモリーでき、リモコンで選局が可能です。

カセットレコーダー部

■CDシンクロ録音

ワンタッチでCDを録音できます。プログラム選曲と組み合わせれば、ご希望の曲だけ録音することもできます。

■連続再生 (TAPE 1→TAPE 2)

TAPE 1の再生が終わるとTAPE 2の再生が自動的に始まる連続再生が可能です。

■フルオートストップメカ

テープエンドで操作ボタンが自動的にもどる便利な機能を採用しています。

■高速ダビング (TAPE 1→TAPE 2)

通常のダビングの約半分の時間でダビングできます。

CDプレーヤー部

■プログラム選曲

CDの中から最大20曲まで自由にプログラムして演奏できます。

■ダイレクト選曲

希望の曲から演奏を始めることができます。

■くり返し演奏

1曲、全曲、プログラムした曲のくり返し演奏をすることができます。

■8cmディスク演奏可能

12cmディスクに加えアダプターなしでそのまま8cmディスクの演奏ができます。

アンプ部

■イコライザーパターン

4種類の好みの音場が楽しめるイコライザーパターンを搭載。

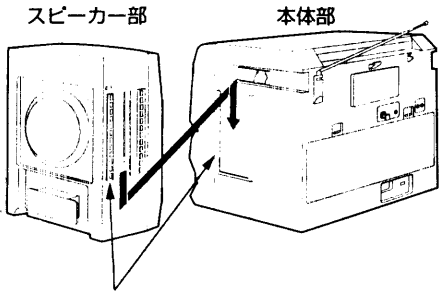
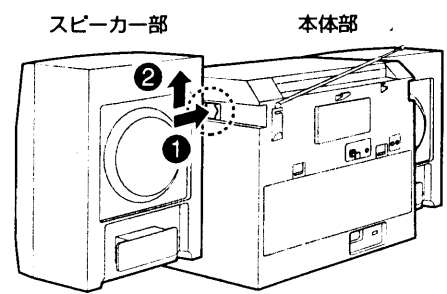
■UBB (ウルトラバースト) システム

豊かな迫力ある重低音演奏を可能にしています。

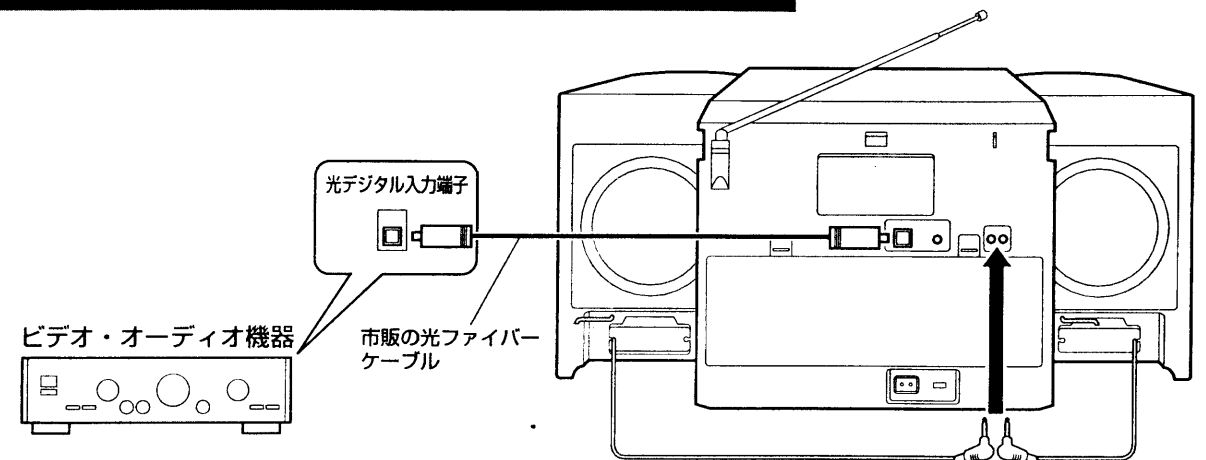
接続のしかた

スピーカーの取り付け・取りはずしかた

本機は本体とスピーカーを離してセパレート型としても使用できますが、スピーカーを本体に取り付ければ一体型として使用できます。

取り付けかた	取りはずしかた
 <p>スピーカー部 本体部</p> <p>スピーカー取付ガイド</p> <p>図のように本体側面のスピーカー取付ガイドにスピーカーの取付ガイドをはめ込み矢印①の方向に押し下げスピーカーを固定します。</p>	 <p>スピーカー部 本体部</p> <p>図のようにスピーカー固定ツメを矢印①の方向に押しなが、スピーカーを矢印②の方向に引き上げ取りはずします。</p>

スピーカーコード・外部機器との接続



■スピーカーコードの接続について

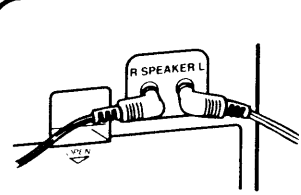
図のようにスピーカーコードのプラグを本体裏面のスピーカー端子に接続します。L、Rをまちがえないように正しく接続してください。

■光ファイバーケーブルの接続について

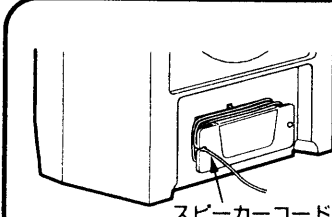
本機のCD光デジタル出力端子とお手持ちのビデオ・オーディオ機器の光デジタル入力端子を市販の光ファイバーケーブルで接続します。

ご注意

CD光デジタル出力端子からは、CDのデジタル信号のみを出力します。テープおよびラジオ音声をこの端子から録音することはできません。



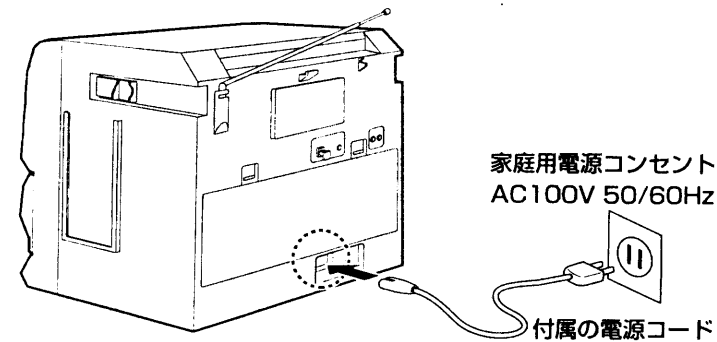
スピーカーコードのプラグは上図のようにスピーカー端子に差し込みます。



余ったスピーカーコードはスピーカーボックス裏の上図の部分に巻き付けておいてください。

電源について

ご家庭のAC100V電源で使うとき

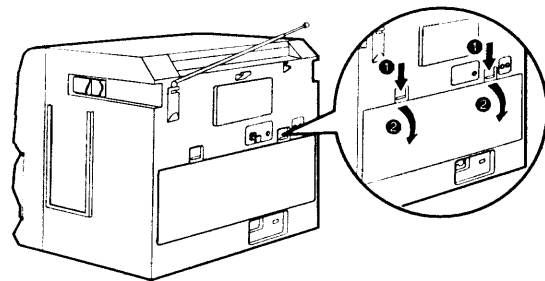


ご注意

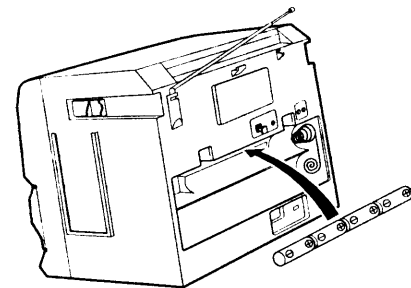
- 長時間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 他の電源コードは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

バックアップ用乾電池の入れかた

- 1 本体裏面の電池ふたの「つめ」を下に押しながら、ふたを開けます。



- 2 本体を少し前に傾けながら、別売りの単3乾電池4本を図のように入れます。

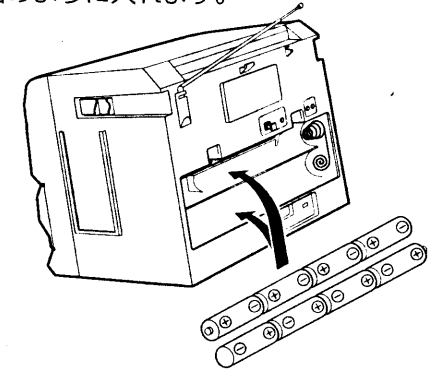
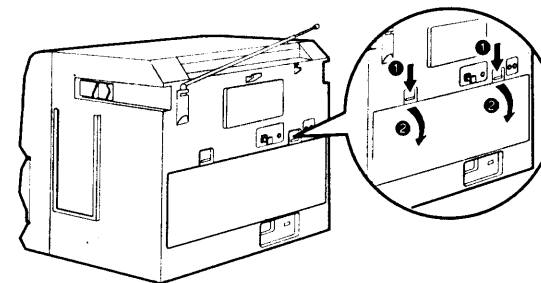


バックアップ用乾電池が入っていないと、電源コードを抜いたり、停電などによりチューナーのプリセットや現在時刻の表示、タイマー再生の設定時間が解除されます。すでにセットされていたチューナーのプリセットや時刻を誤って解除させないためバックアップ用乾電池（別売り単3乾電池4本）を使用してください。

電源について

乾電池で使うとき

- 1 電池ふたの「つめ」を下に押しながら、ふたを開けます。
- 2 本体を少し前に傾けながら、単1乾電池（別売り）8本を図のように入れます。



乾電池の交換について

乾電池が消耗すると、ラジオ放送に雑音が入ったり、ディスプレイが暗くなって見づらくなります。このようなときは乾電池を8本とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

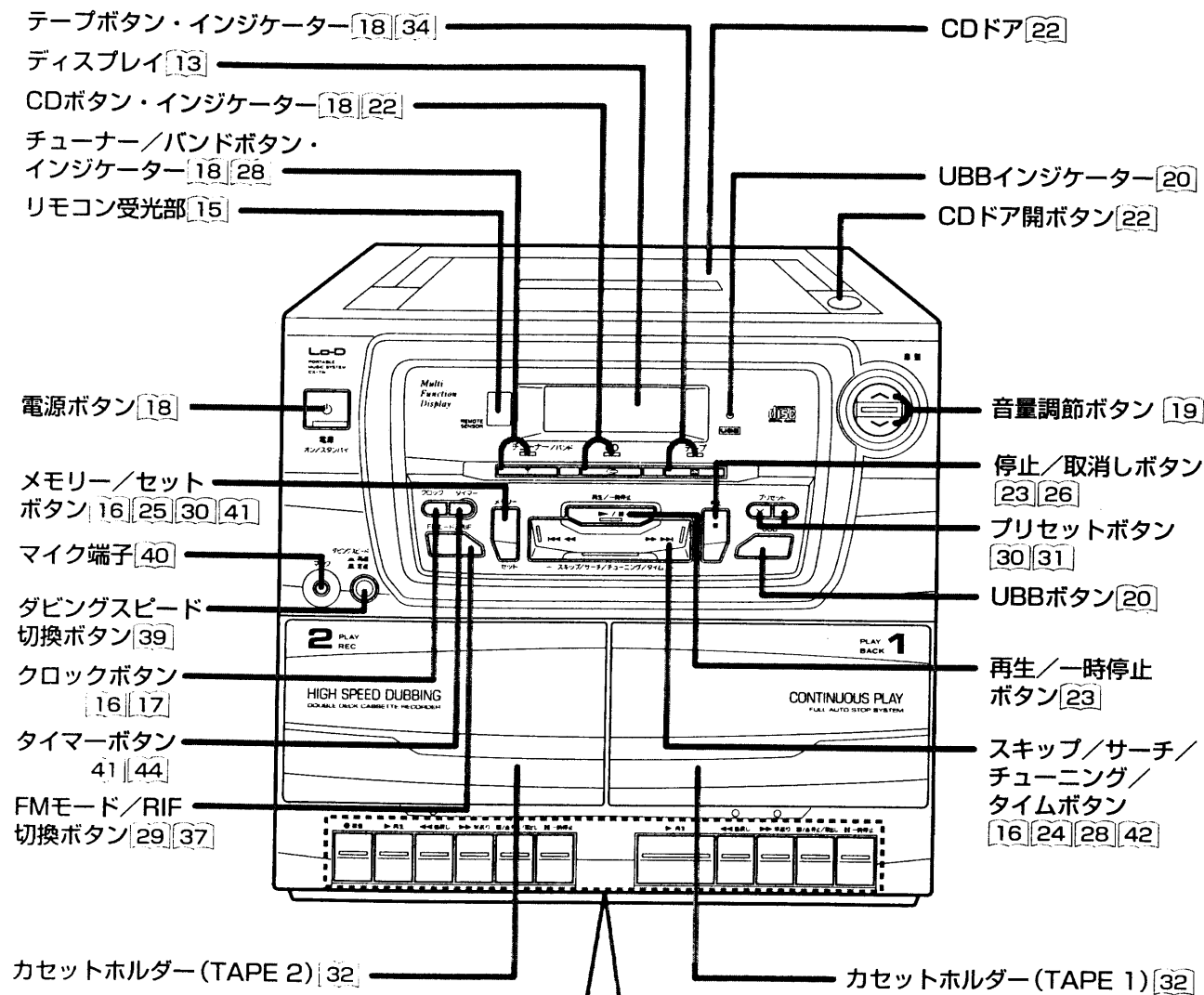
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

- ① 乾電池は、⊕プラスと⊖マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ③ 種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
- ④ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
- ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

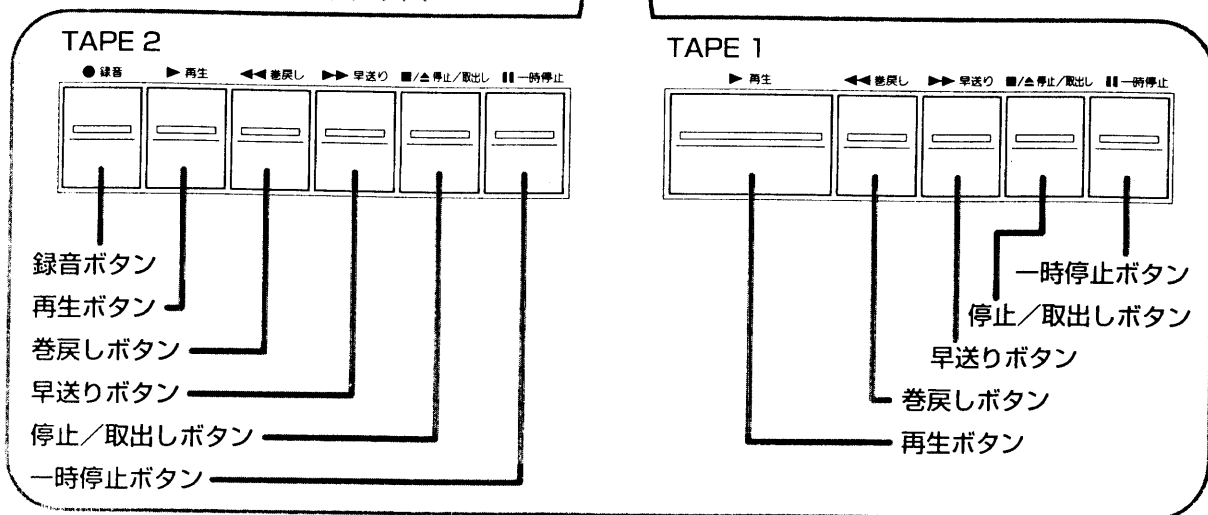
各部の名称

本体前面

内の数字は参照ページを示します。

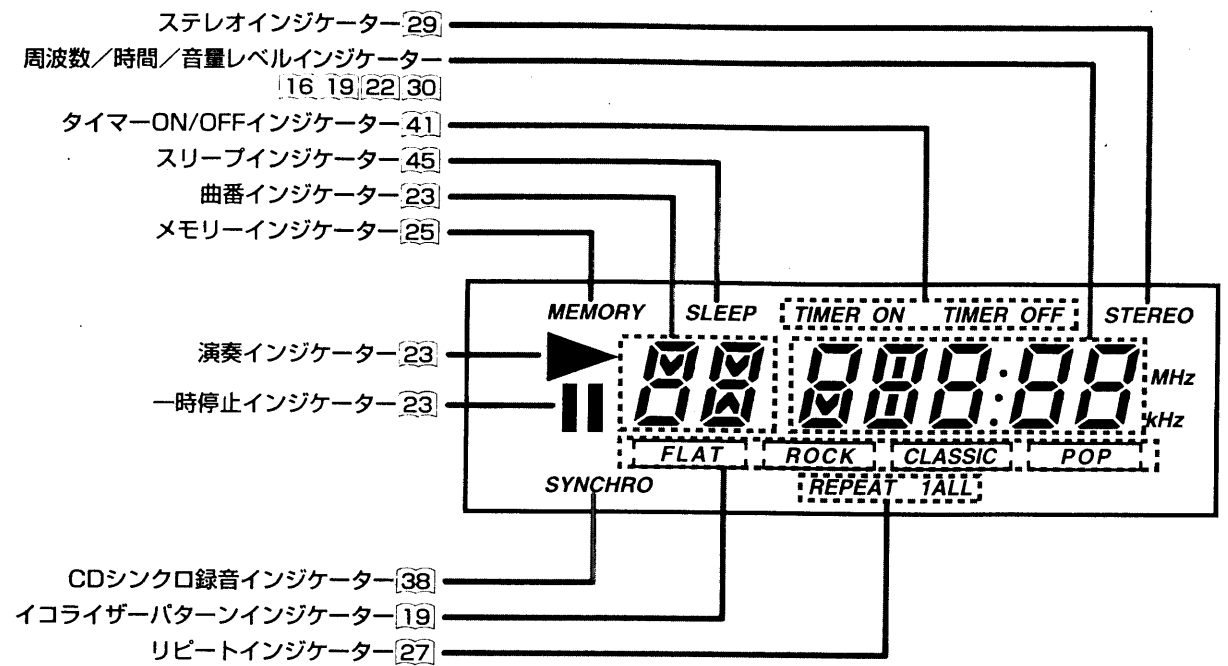


カセット操作ボタン [34]~[39]

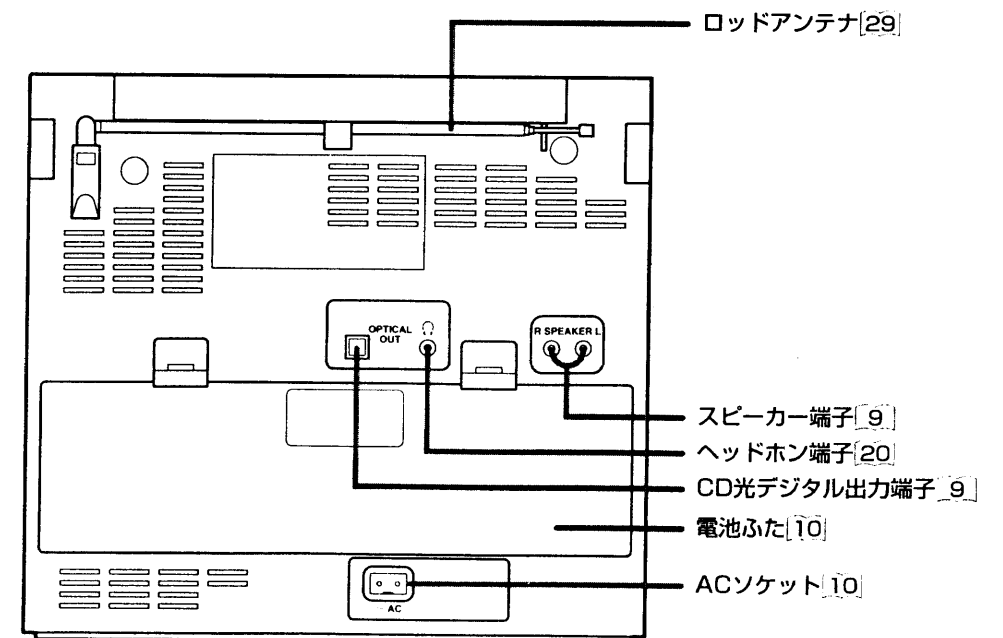


各部の名称

ディスプレイ

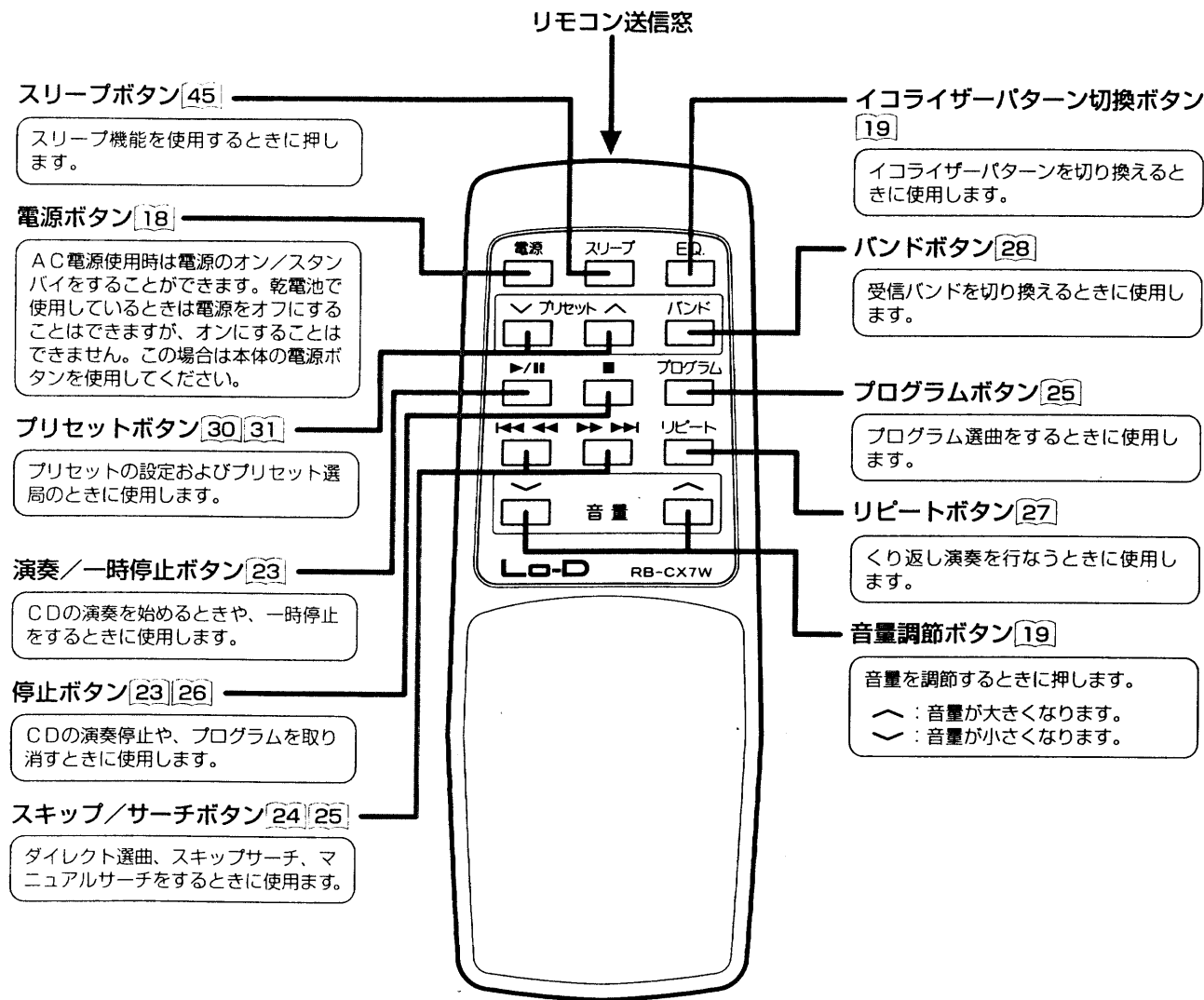


本体後面



リモコンの使いかた

各部の名称とはたらき



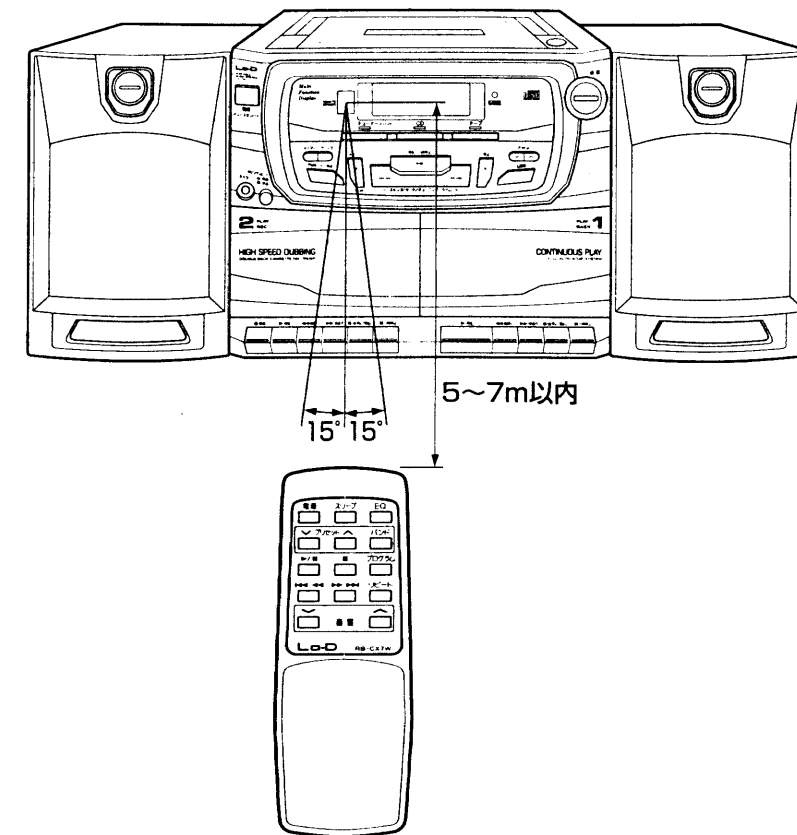
操作時のご注意

- リモコンを操作するときは、ゆっくりと確実にボタンを押してください。操作ボタンの早押しをすると、本体が受け付けないことがあります。
- リモコンとリモコン受信窓の間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたり、水につけたりしないでください。内部に液体が入ると、リモコンでの操作ができなくなります。

リモコンの使いかた

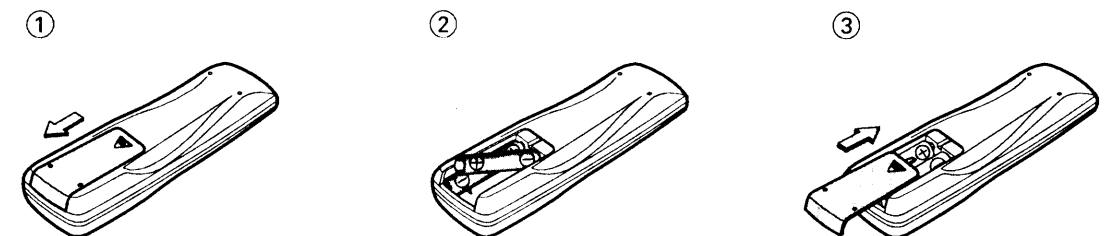
リモコンの使える範囲

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
動作範囲は、リモコン受光部に対して、上下左右方向で約15°ずつ、直線距離で5~7m以内です。それ以外の範囲では、本体が受け付けないことがあります。



電池の入れかた

- ① 電池ふたを矢印の方向にスライドさせると、電池ふたがはずれます。
- ② 電池の⊕、⊖を確認して正しく入れてください。電池は単4乾電池2個を使用します。
- ③ 電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。
 ※ 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。11ページの乾電池に対する「ご注意」をよくお読みになって、正しく取り扱ってください。
 ※ 付属の単4乾電池は動作確認用ですので、短期間に消耗してしまうことがあります。できるだけ早期に新しい乾電池と交換してください。



現在時刻の合わせかた

本機の時刻表示は12時間表示と24時間表示の2種類があります。お好みの表示に切り換えてご使用ください。

- 12時間表示でご使用になる場合のAM、PMの意味は、夜の12時は「AM12:00」、昼の12時は「PM12:00」です。
- 時刻合わせは本機の電源オン/スタンバイに関係なくできます。ただし、本機を乾電池で使用している場合は、電源をオフにしますと時刻合わせはできなくなります。

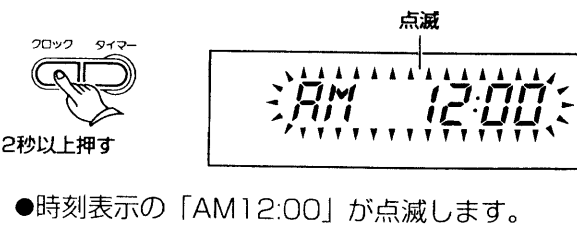
■初めて現在時刻を設定するには

- 以下の例は12時間表示を選択している場合の現在時刻の合わせかたです。24時間表示の場合も12時間表示の合わせかたと同様です。

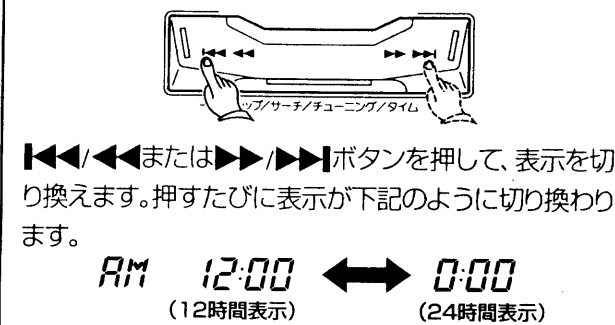
たとえば午後6:30(PM6:30)に合わせるとき

- 時刻合わせ開始。
- 「12時間表示」、「24時間表示」を切り換える。

クロックボタンを2秒以上押します。

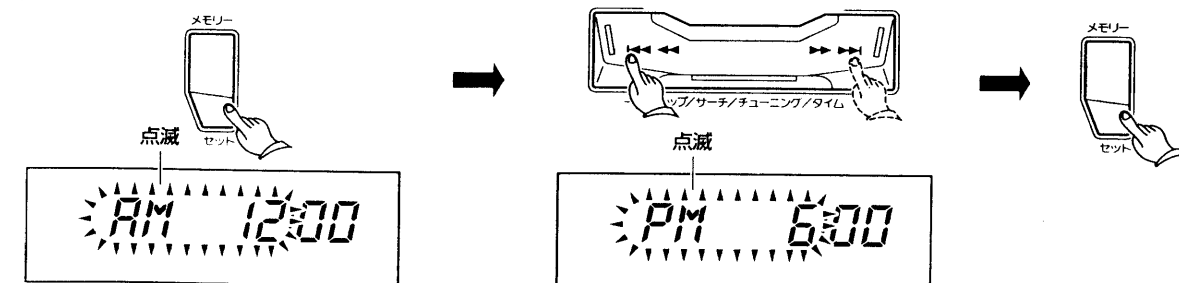


- 「12時間表示」、「24時間表示」を切り換える。



- 「時」を合わせる。

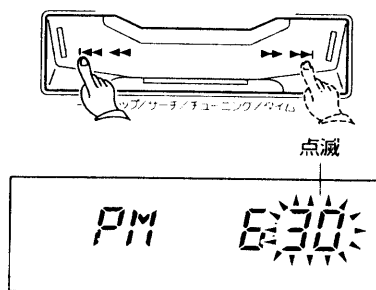
セットボタンを押した後、「<<</>>>」または「>>>/<<<」ボタンを押して、午後6時(PM:6)に合わせ、再度セットボタンを押します。



再度セットボタンを押すと、「時」表示が点灯し、「分」表示が点滅しますので、次に「分」を合わせます。

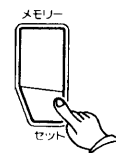
- 「分」を合わせる。

「<<</>>>」または「>>>/<<<」ボタンを押して、30分を合わせます。



- 時刻合わせ終了。

セットボタンを押します。この時から、時計は動作を始めます。



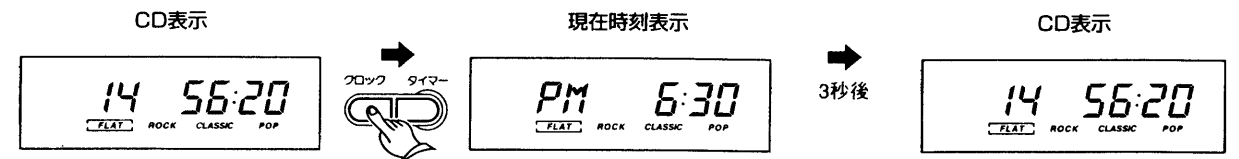
現在時刻の合わせかた

■現在時刻の確認 / 変更について

現在時刻の確認/変更は、ディスクの演奏、テープの再生・録音中、放送の受信中にも行なうことができます。

●現在時刻の確認

現在時刻の確認をするには、クロックボタンを押します。3秒間現在時刻を表示後、元の表示に戻ります。
(例) ファンクション切換がCDでCDが停止中のときは



●現在時刻の変更

現在時刻を変更するにはクロックボタンを2秒以上押します。現在時刻設定モードになり現在時刻を変更することができます。



電源をオフにすると現在時刻表示になります。

操作をする前に

マーク付きの操作は本機付属のリモコンでも操作できます。

電源ボタンについて



電源ボタンを押すたびに電源がオン/スタンバイに切り換わります。

電源ボタンを押すたびに電源がオン/スタンバイ状態になります。

- 電源コードをコンセントに差し込むとディスプレイに「HELLO」のメッセージが表示されます。

本機を乾電池で使用しているときは、リモコンの電源ボタンでは電源をオンできません。
(電源をオフにはできます。)

ファンクション切り換えのしかた

演奏するソースは、本体のファンクション切換ボタンによって切り換えます。

- 選ばれているファンクション切換ボタンの上のインジケーターが赤色に点灯します。

操作するファンクション切換ボタン	演奏されるソース
	チューナー... FM/AM/TV放送を聴くとき
	CD..... CDプレーヤーで演奏をするとき
	テープ..... テープデッキで再生をするとき ●ディスプレイにTAPEと表示されます。

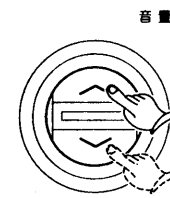
オートファンクション機能について

本機では本体およびリモコンで以下の操作をすると自動的にファンクションが切り換わり演奏を始めます。

操作するボタン	演奏されるソース
本体	チューナー..... FM/AM/TV放送
リモコン	
本体	CD..... CD演奏
リモコン	

操作をする前に

音量調節のしかた



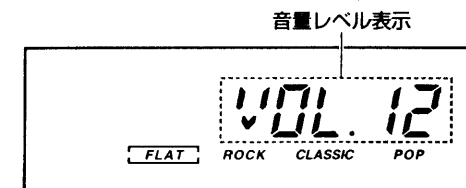
- : ^ 側を押すと音が大きくなります。
- : v 側を押すと音が小さくなります。

- 音量の大きさはディスプレイに表示されます。(下記「音量表示について」をご覧ください。)
- リモコンの音量調節ボタン「」「」を押すと、音量を調節することができます。

⚠注意

大音量で連続使用すると、大量の熱を発生しますので本機の周囲をふさがないようにして放熱を十分行なってください。

■音量表示について



音量レベルはディスプレイに表示されます。

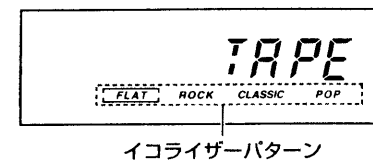
- 数字が大きくなるほど音量は大きくなり、数字が小さくなれば小さくなります。
- 音量調節操作をすると自動的にディスプレイが音量レベルを表示します。(VOL 00~99)

音質調節のしかた

(リモコン操作のみ)



音質調節はイコライザーパターン切換ボタンによりすでに本機に記憶されている4種類 (FLAT/ROCK/CLASSIC/POP) の中から選びます。イコライザーパターン切換ボタンを押すたびにイコライザーパターンが切り換わります。お好みのパターンでご使用ください。



イコライザーパターン

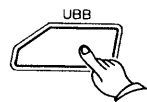
- 選んでいるイコライザーパターンには、マークが点灯します。

- FLAT ソース本来の音が自然に聴こえます。標準的な音です。
- ROCK ロックなどを迫力ある音で聴きたいときに最適です。
- CLASSIC クリアで明快な音質です。クラシック音楽を聴くのに向いています。
- POP 歌手の声が強調されます。比較的落ち着いた力強い音質です。

- イコライザーパターンはディスプレイに表示されます。
- イコライザーパターンは録音内容には効果がありません。

操作をする前に (つづき)

重低音の効いた迫力のある音で聴くには(UBB:ウルトラバスブースト)



重低音の効いた迫力ある音で聴きたいときには、UBBボタンを押します。

(UBB)インジケータ点灯

- ボタンを押すたびにUBB-H→UBB-L→オフ(表示なし)と順に表示がくり返し切り換わります。
- 切るときはボタンを押してUBBインジケータをオフ(消灯)にします。

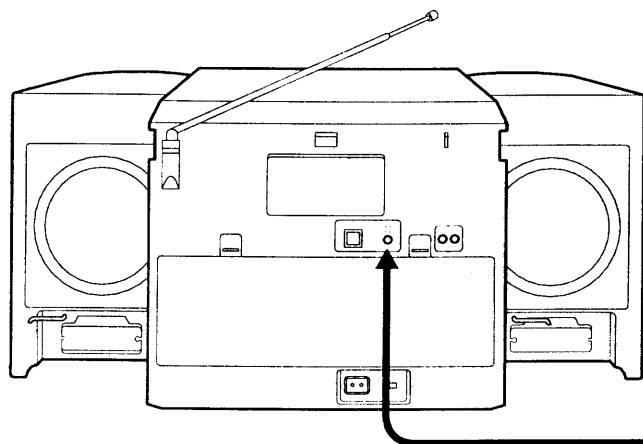
ヘッドホンでお聴きになるときは

- 夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホンのステレオミニプラグを本体後面のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節ボタンで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。



注意

ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

コンパクトディスクについて



本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

①



右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。

②




センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。

③

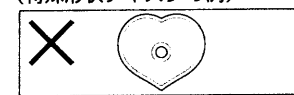


ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

■ディスクについてのご注意

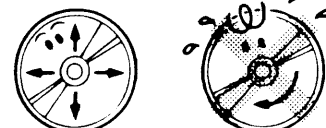
- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

(特殊形状ディスクの例)



取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。



- 熱を加えないでください。



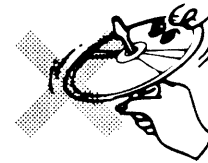
- 曲げたりしないでください。



- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。



- 中心の穴を大きくしないでください。



- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。



- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。



- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさずしないでください。



保管について

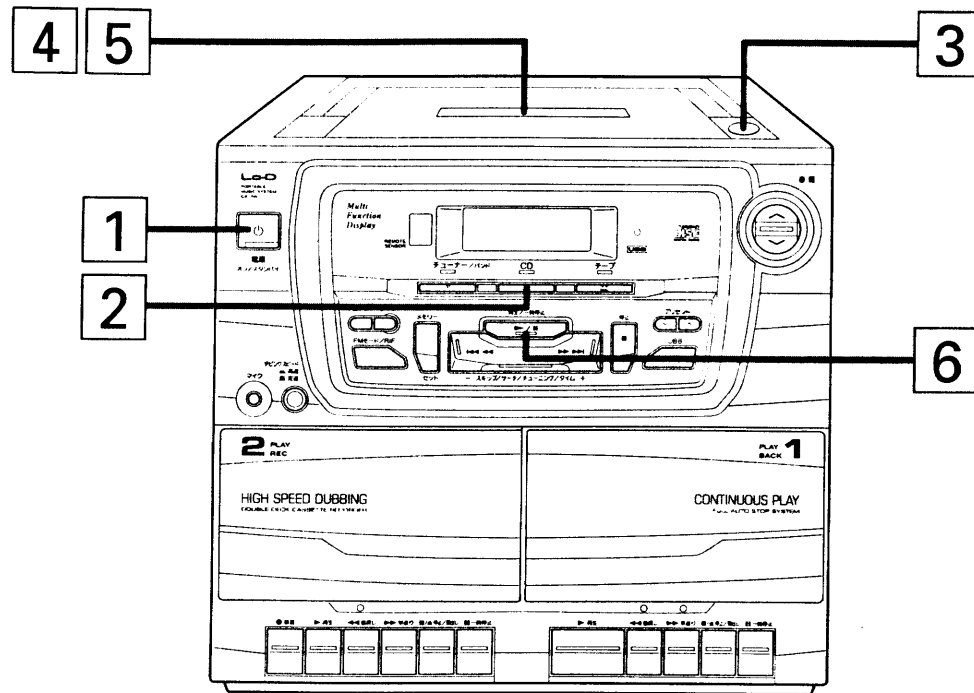
- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。


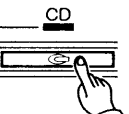

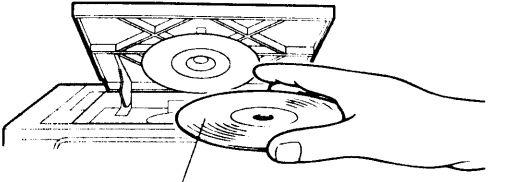
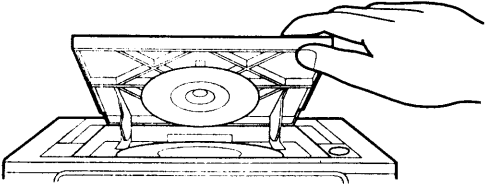
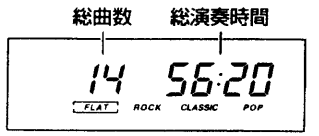
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。

1. 直射日光が長時間あたる場所。
2. 湿気、ほこりなどが多い場所。
3. 暖房器具などの熱が当たる場所。

CD 演奏

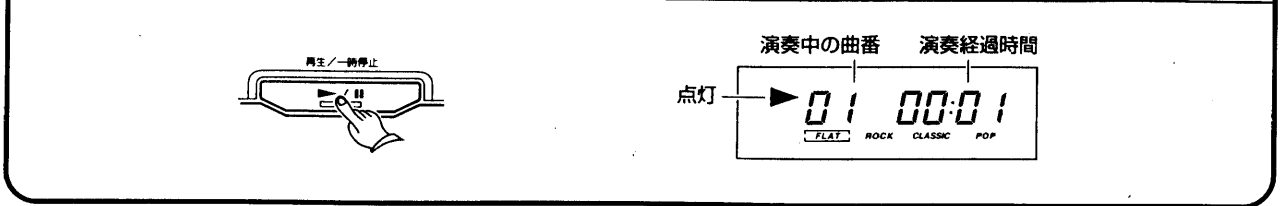
1 曲目から演奏を始めるには



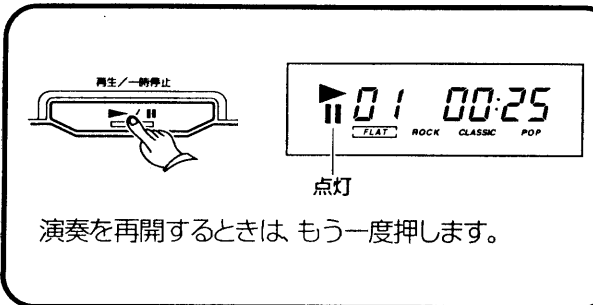
<p>1 電源を入れる。</p>  <p>電源 オン/スタンバイ</p> <p>本体を乾電池で動作している時はリモコンで電源をオンすることはできません。</p>	<p>2 ファンクションを「CD」に切り換える。</p> <p>点灯</p>  <p>CD</p> <p>CD収納部にディスクが入っていない時は、表示部に「Cd」表示の後、「disc」と表示されます。</p>	<p>3 CDドアを開ける。</p>  <p>●表示部に「OPEN」と表示されます。</p>
<p>4 ディスクをセットする。</p> <p>コンパクトディスク（12cm、8cm）は、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。（コンパクトディスクの演奏は片面だけです。）</p>  <p>レーベル面（印刷面）</p> <p>CD収納部の中央に確実にのせます。正しくのせないとディスクを傷めることがあります。</p>	<p>5 CDドアを閉める。</p>  <p>CDドアを閉めると総曲数、総演奏時間が表示されます。</p>  <p>総曲数 総演奏時間 14 56:20 FLAT ROCK CLASSIC POP</p>	

CD 演奏

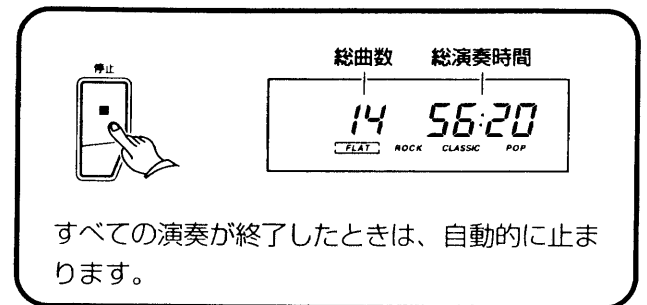
6 演奏を始める。



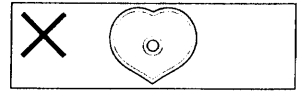
演奏の一時停止



演奏を途中で止めるとき



ご注意

- CD収納部に異物を入れたり、無理に手で開閉したりしないでください。故障の原因になります。
 - CDプレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、CDドアを閉めておいてください。
 - テレビの近くでCDを演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
- このようなディスクは使用しないでください
- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
 - ディスクレーベル面に **disc** のマークが入ったものなど、IEC規格に合致したものを御使用ください。
 - ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。
- (特殊形状ディスクの例)
- 

CD 演奏の便利な使いかた

好きな曲から演奏を始めるには・・・ダイレクト演奏

スキップ/サーチボタンで曲番を選び、再生/一時停止ボタンを押してください。その曲から演奏を始めます。

■たとえば14曲入りのディスクの3曲目から演奏を始めるとき

停止状態から操作します。	1 曲番を選ぶ。	2 演奏を始める。
<ul style="list-style-type: none"> ●スキップ/サーチボタンは、停止中に押し続けると連続して曲番が変わります。最終曲でさらに押し続けると1曲目に戻ります。 ●スキップ/サーチボタンの左側 (IIIIII) を押すと前の曲へ戻ります。1曲目でさらに押すと最終曲に戻ります。 		

演奏中にすばやく好きなところをさがすには・・・マニュアルサーチ

演奏中にスキップ/サーチボタンで早送り/早戻しができます。

早送り	早戻し
指をはなすと通常の演奏に戻ります。	指をはなすと通常の演奏に戻ります。

マニュアルサーチについて

- 演奏中にスキップ/サーチボタンを押し続けると、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は、通常の演奏より小さな音になります。
- 一時停止状態でマニュアルサーチを行なうと、音を出さずに早送りや早戻しができます。
- 早戻しでマニュアルサーチ中にディスクの1曲目の始めまでくると1曲目の始めから演奏が始まります。(一時停止状態の場合には、1曲目の始めで一時停止状態となります。) また早送りで最終曲の終わりまでくると停止状態になります。

CD 演奏の便利な使いかた

演奏中に好きな曲へ飛ぶには・・・スキップ演奏



■たとえば5曲目を演奏中のとき

次の曲 (6曲目) を聴く	もう一度 (5曲目) 聴く	前の曲 (4曲目) を聴く
「ボン」と1回押す 1回「ボン」と押すと、次の曲へ移り、押す回数により次の曲、次の曲へと移ります。	「ボン」と1回押す 1回「ボン」と押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。	「ボン」「ボン」と2回押す 連続して2回「ボン」「ボン」と押すと前の曲に戻り、押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。

ご注意

スキップ選曲を行なうときは、スキップ/サーチボタンを「ボン」と短く押ししてください。スキップ/サーチボタンは、押し続けるとマニュアルサーチ (24ページ参照) 動作になります。

好きな曲を選び好きな順番で演奏するには・・・プログラム演奏



最大20曲まで好きな順番でプログラム演奏ができます。

■たとえば14曲入りのディスクで3曲目→12曲目の順に演奏するには

停止状態から操作します。	1 プログラムモードにする。	2 3曲目をメモリーする。
3 12曲目をメモリーする。	4 演奏を始める。	
	演奏が終わると、メモリーインジケータは消えますがプログラムは残ります。	

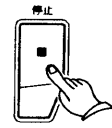
CD 演奏の便利な使いかた (つづき)

プログラムの確認/変更・追加



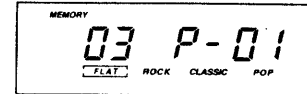
確認: プログラム終了後、メモリーボタンを押します。
ボタンを押すごとにプログラムした順に曲番が表示されます。
変更、追加: メモリーボタンで変更、追加したい曲番を選び、スキップ/サーチボタンで選曲後、再度メモリーボタンを押せば、プログラムを変更、追加することができます。

プログラムの取消し



プログラム演奏の取消し:
演奏中、停止/取消しボタンを押します。(メモリーされているプログラムは残ります。)

プログラムメモリーの取消し:
停止中、メモリーボタンを押して、右図のプログラム表示をさせます。この状態で停止/取消しボタンを押すとメモリーが取り消されます。



●CDドアを開いたときにもプログラムは取り消されます。

プログラム演奏中にできる操作

プログラムを消さずに、次の操作ができます。

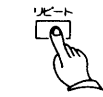
- 停止
- 一時停止
- スキップ選曲 (プログラムされている順に飛びます。)
- 早送り (プログラムされている順に早送りします。)
- 早戻し (曲の始めまで早戻しすると自動的に再生状態になります。)
- くり返し演奏 (プログラムされている曲の1曲または全曲)

CD 演奏の便利な使いかた

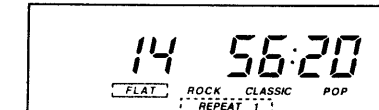
1曲だけくり返し演奏するには・・・1曲リピート (リモコン操作のみ)

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 1曲リピートモードにする。



1回押す

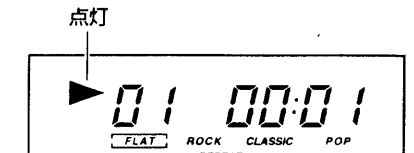


点灯

2 演奏を始める。



1回押す



点灯

1曲だけをくり返し演奏します。

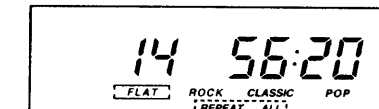
全曲をくり返し演奏するには・・・全曲リピート (リモコン操作のみ)

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 全曲リピートモードにする。

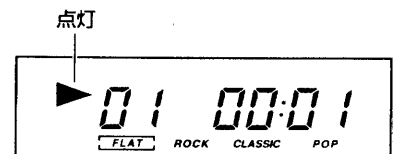


2回押す



点灯

2 演奏を始める。



点灯

全曲をくり返し演奏します。

くり返し演奏の取消し



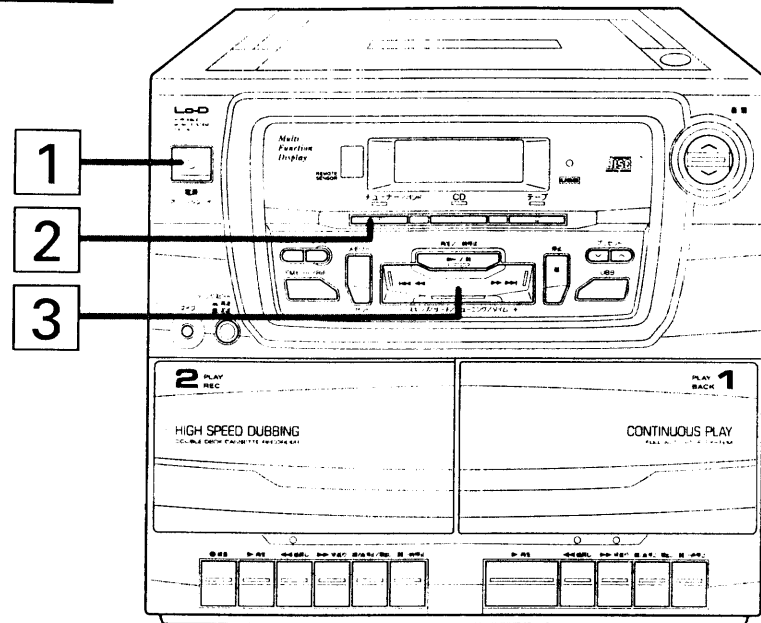
- リピートボタンを押し (1曲リピートの場合は2回、全曲リピートの場合は1回) リピートインジケータを消灯させます。

便利な使いかた

- CDのプログラムを行なった後、リピートボタンを押して全曲リピートモードにすると、プログラムした曲をくり返し演奏することができます。(プログラムリピート)
- くり返し演奏 (1曲リピート、全曲リピート) の設定は演奏中でもできます。

放送の受信

放送の受信



<p>1 電源を入れる。</p> <p>電源 オン/スタンバイ</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をオンすることはできません。</p>	<p>2 ファンクションを「チューナー」に切り換え、希望のバンドを選ぶ。</p> <p>チューナー/バンド</p> <p>このボタンを押すたびに受信バンド FM↔AMが交互に切り換わります。</p>	<p>3 放送局を選ぶ。</p> <p>アップ/サーチ/チューニング/タイム</p> <p>詳しくは下欄「選局のしかた」をご覧ください。</p>
---	--	---

選局のしかた (マニュアル/オートチューニング)

■ FM 放送

- チューニングボタンの「+」または「-」を「ポン」と押すと、周波数表示が0.1MHzづつ変化します。(マニュアルチューニング)
- チューニングボタンを1秒以上押し続けると、周波数は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておくと、放送を受信したところで自動的に止まります。(オートチューニング)

■ AM 放送

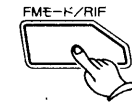
- チューニングボタンの「+」または「-」を「ポン」と押すと、周波数表示が9kHzづつ変化します。(マニュアルチューニング)
- チューニングボタンを1秒以上押し続けると、周波数は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておくと、放送を受信したところで自動的に止まります。(オートチューニング)

■ TV 放送

- FMバンドで受信できます。周波数が90.0MHzを過ぎるとTVバンドとなり、チューニングボタンの「+」または「-」を「ポン」と押すと、チャンネル表示が1chづつ、1chから3chまで変化します。

放送の受信

FMモード切換ボタンについて (FM受信モード)



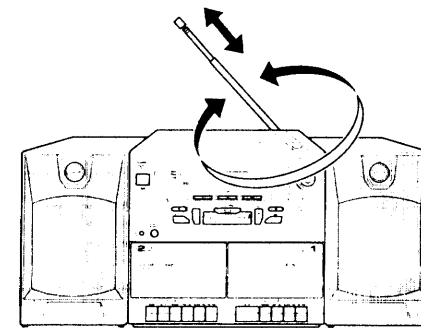
FM放送受信時に、このボタンを押すたびにモノラルモードとステレオモードが交互に切り換わります。ステレオモードでは「STEREO」インジケータが点灯します。FMステレオ放送を受信すると自動的にステレオになります。

- 放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声が途切れるような場合には、モノラルモードにします。ステレオで聴くことはできませんが、雑音や音切れが軽減されます。
- AMおよびTV放送は常にモノラル受信です。

アンテナについて

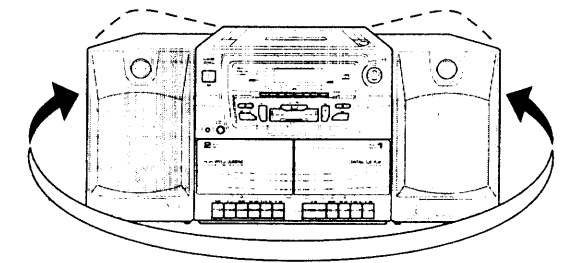
FM/AM/TV 放送を聴くには、アンテナが重要なはたらきをします。

FM放送、TV放送を聴くとき



ロッドアンテナを伸ばし、角度・方向・長さを調節して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる位置を選びます。

AM放送を聴くとき



本機をゆっくり回して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる方向を選びます。

- FM放送やTV放送をお聴きになるとき、他の放送と混信する場合には、ロッドアンテナを縮めてください。

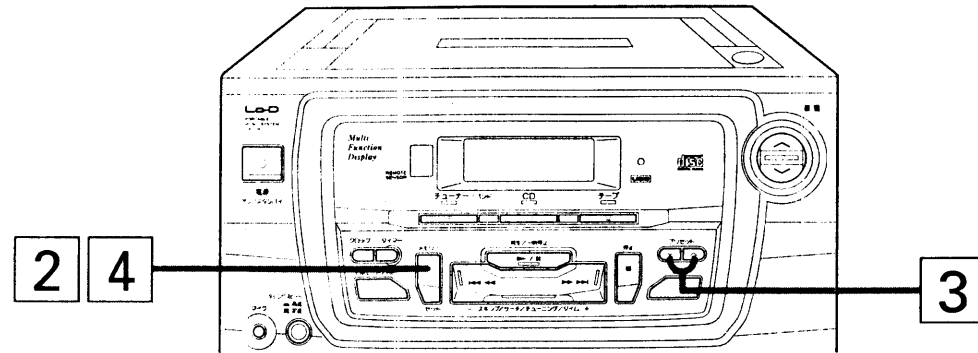
ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、テレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

放送の受信 (つづき)

プリセットのしかた

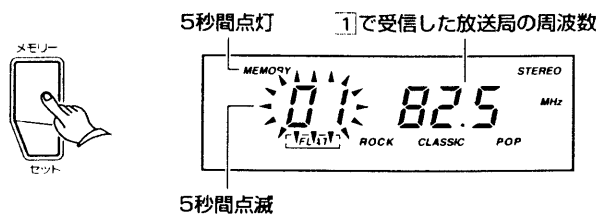
●FM/AM/TV放送を合わせて合計30局プリセットできます。



1 準備。

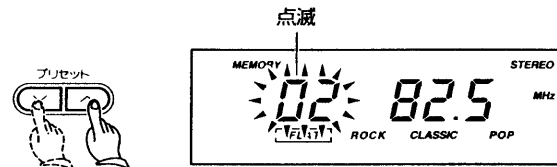
28ページの「放送の受信」にしたがって、プリセットしたい放送を受信します。

2 プリセット設定モードにする。



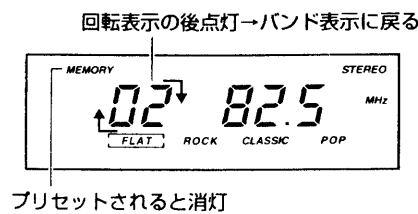
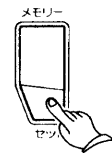
3 プリセット番号を選ぶ。

プリセット番号が点滅中(5秒間)にプリセットボタンで好みのプリセット番号を選びます。
例: プリセット番号2を選んだ場合



4 プリセットする。

プリセット番号が点滅中にメモリーボタンを押します。



メモリーインジケーターが消灯し、選んだプリセット番号が点灯します。
1~4の手順をくり返しFM、AM、TV合わせて合計30局をプリセットすることができます。

●合計30局をプリセットした後、さらにプリセットしようとしてプリセット設定モードにすると、ディスプレイに「FULL」と表示されます。この状態でプリセットすると選んだプリセット番号の内容が新しく選んだ放送局の周波数に書き換えられます。

プリセットメモリーを消すには

メモリーボタンを2秒以上押し、ディスプレイに「DEL」の表示が点滅しますので、点滅している間にもう一度メモリーボタンを押すと、すべてのメモリーが消えます。プリセット番号1~13には、あらかじめ調整用の周波数をメモリーしてありますので、初回だけプリセットメモリーをすべて消してください。

放送の受信

プリセットした放送局を変更したいときは

プリセットするときと同じ手順で重ねてプリセットすると新しい周波数がメモリーできます。

プリセット選局

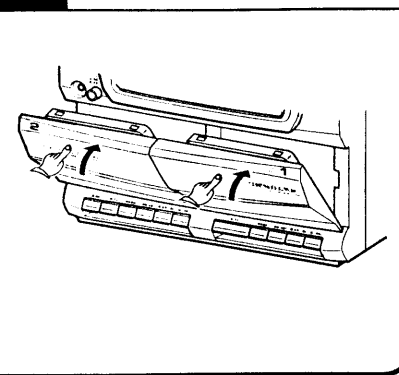
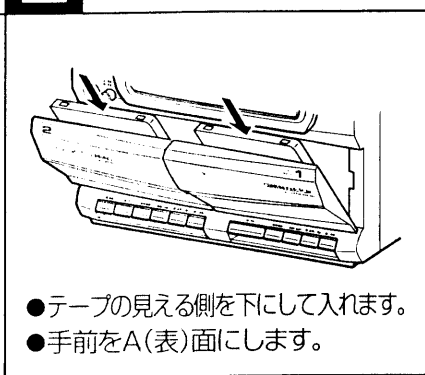
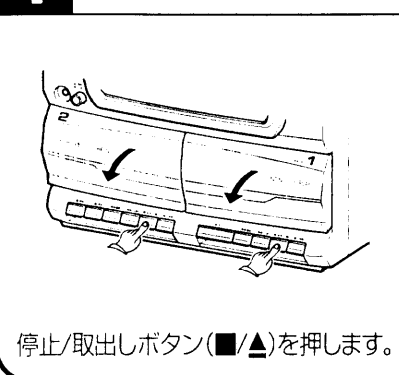
●FM、AM、TVの好みの放送局をプリセットしてから選局します。

1 電源を入れる。	2 ファンクションを「チューナー」に切り換える。
<p>電源 スノースタンバイ</p>	<p>チューナーノブ</p>
3 プリセット選局する。	
<p>例. プリセット番号2を選んだ場合</p> <p>プリセットボタンで聴きたい放送局を選びます。</p>	

再生・録音を始める前に

カセットテープの入れかた

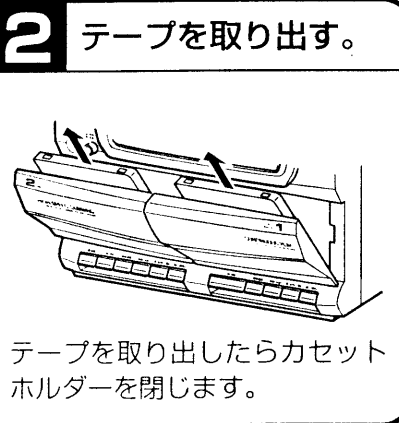
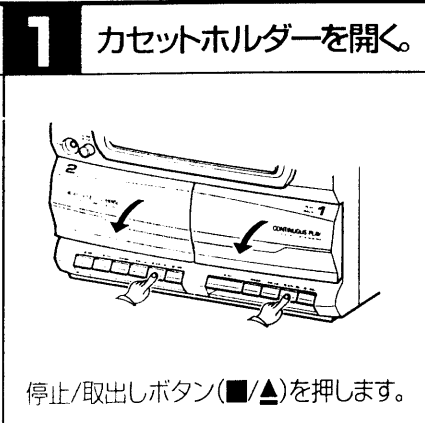
- 1** カセットホルダーを開く。 **2** テープを入れる。 **3** カセットホルダーを閉じる。



カセットテープの取り出しかた

- 1** カセットホルダーを開く。 **2** テープを取り出す。

カセットテープを停止状態にして操作します。



ご注意

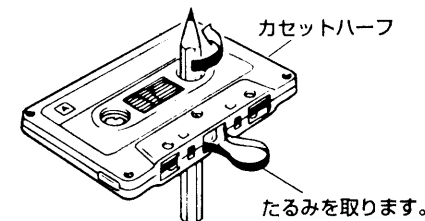
- カセットデッキを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐためにカセットホルダーを閉めておいてください。
- テープ走行中には、カセットテープを取り出すことはできません。
- 本機でエンドレステープを使用することはできません。
- テープを逆に入れたりすると、カセットホルダーは閉じられない構造になっています。無理に閉じないでください。
- C-120テープはテープが薄いため、何回も使用していると伸びたり巻き込んだりすることがあります。特に長時間録音が必要なとき以外は、できるだけ使用をさけてください。

再生・録音を始める前に

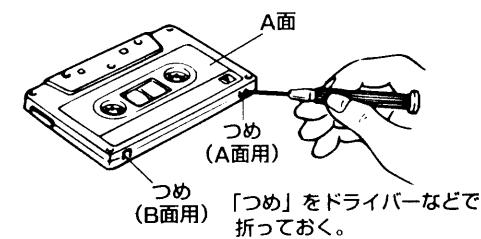
カセットテープについて

テープにたるみがあるときは...

カセットハーフのリール軸に鉛筆などを差し込んで巻き取り、テープのたるみを直してからご使用ください。



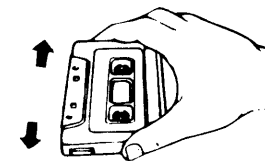
大切な録音内容を誤って消さないために



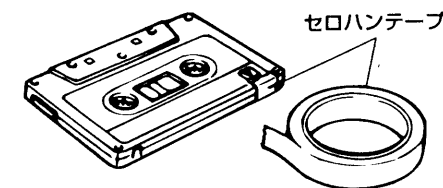
録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。「つめ」の部分を取り取ると録音できなくなり、誤って消すことはありません。

テープが滑らかに走行しないときは

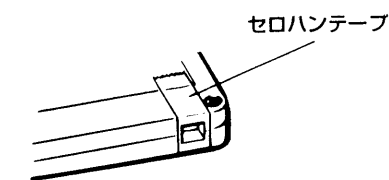
テープの一部分だけくり返し再生、巻戻しをするとテープの巻取りに段差ができ、カセットハーフにこすれてテープが滑らかに走行しないことがあります。このようなときはテーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたくか、一度巻き直してからご使用ください。



「つめ」を折ったテープに録音するには



穴の上にゼロハンテープを貼ると、録音ができるようになります。



使用できるテープについて

本機で録音、再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。

保管するときは

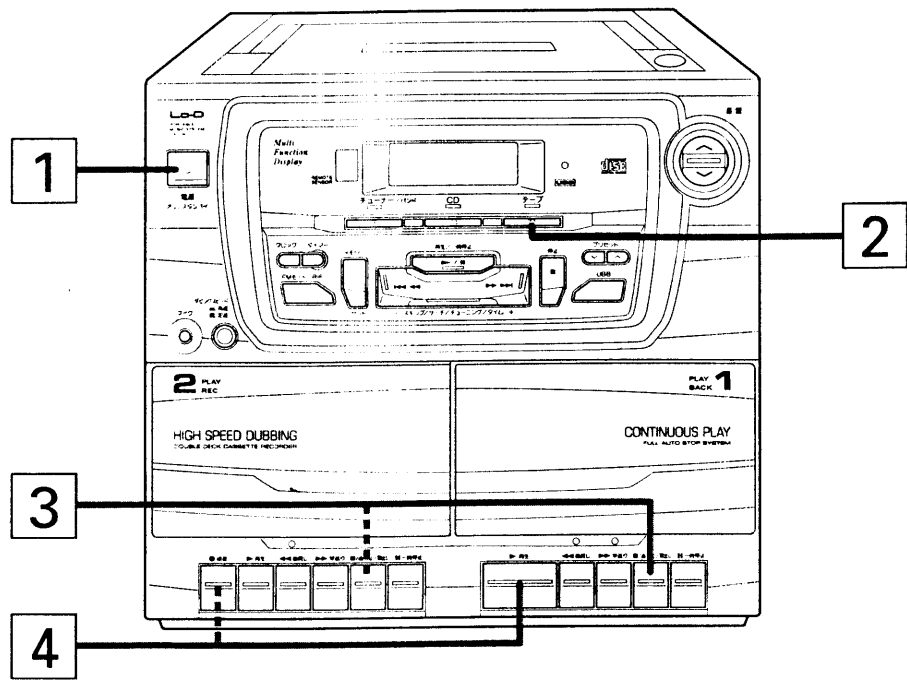
プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

テープ再生

(TAPE 1・TAPE 2)

再生してみましょう

本機で再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



<p>1 電源を入れる。</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をオンすることはできません。</p>	<p>2 ファンクションを「テープ」に切り換える。</p>	<p>3 テープを入れる。</p> <p>再生するテープをTAPE 1またはTAPE 2に入れます。 ●32ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。</p>
<p>4 再生を始める。</p> <p>再生したい側の再生ボタンを押します。</p> <p>TAPE1、TAPE2を共に再生状態にすると、TAPE1の音が聴こえます。(TAPE1優先)</p>		

再生の停止

停止/取出しボタンを押します。

早送り、巻き戻しは

早送りまたは巻き戻しを行なうときは、停止ボタンを押して、停止状態にしてから早送りまたは巻き戻しボタンを押してください。

再生の一時停止

再生を再開するときは、もう一度押します。

フルオートストップ機構について

再生、録音、早送り、巻き戻しのとき、テープが最後までくるとテープは自動的に停止し、押されているボタンも元に戻ります。

テープ再生

TAPE1、TAPE2を連続して再生するには・・・連続再生

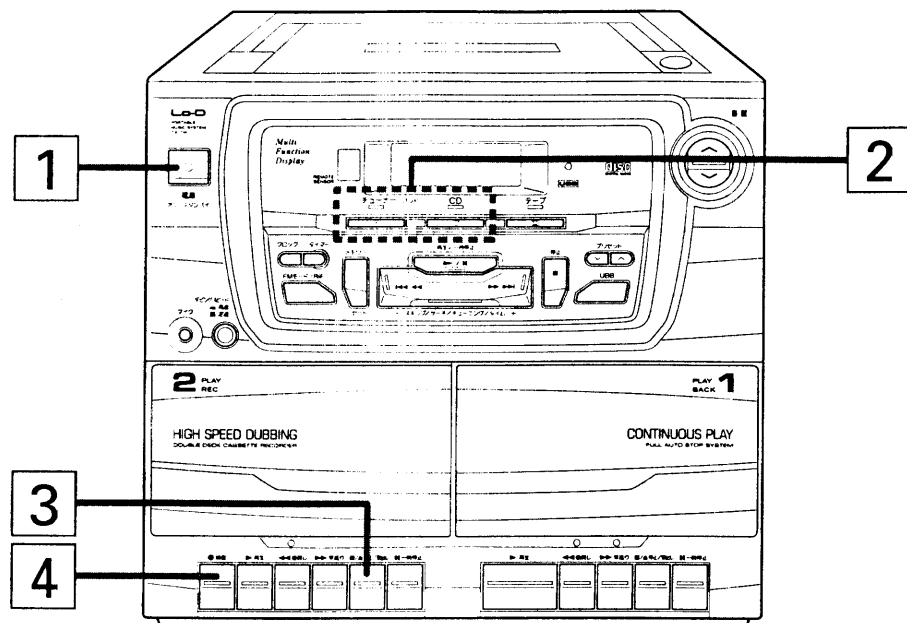
連続再生はTAPE1、TAPE2の順に行ないます。逆の順にはできません。

<p>1 電源を入れる。</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をオンすることはできません。</p>	<p>2 ファンクションを「テープ」に切り換える。</p>	<p>3 テープを入れる。</p> <p>再生するテープをTAPE1、TAPE2に入れます。 ●32ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。</p>
<p>4 TAPE1を再生する。</p> <p>TAPE1の再生が始まります。</p>	<p>5 TAPE2を再生待機状態にしておく。</p> <p>TAPE2の一時停止ボタンを押した後、再生ボタンを押します。</p> <p>TAPE1の再生が終わると、TAPE2の一時停止が自動的に解除され、TAPE2の再生が始まります。</p>	

テープ再生

録音してみましょう

本機で録音できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



<p>1 電源を入れる。</p> <p>本体を乾電池で動作している時はリモコンで電源をオンすることはできません。</p>	<p>2 録音するソースを選ぶ。</p> <p>●ファンクション切換ボタンで希望のソースを選びます。</p>	<p>3 テープを入れる。</p> <p>録音するテープをTAPE 2に入れます。 ●32ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。</p>	<p>4 録音を始める。</p> <p>ソースの再生を始め録音を開始します。 (CDの場合は約5秒後に自動的に演奏が始まります。: CDシンクロ録音、38ページ参照)</p> <p>録音ボタンを押します。(再生ボタンも同時に押し込まれます。)</p>
---	---	---	--

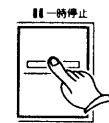
一時停止状態にしてから録音を始めるには

1. カセットテープを入れた後、一時停止ボタンを押します。
2. 録音ボタンを押し、録音一時停止状態にします。
3. 録音を始めるには、もう一度一時停止ボタンを押します。

ディスクの途中から録音するには (CDマニュアル録音)

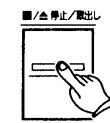
1. 録音を始めたいところでCDを一時停止状態にします。
2. TAPE2の録音ボタンを押します。
3. 再生/一時停止ボタンを押してディスクの演奏を始めます。

録音中の一時停止



録音中に一時停止ボタンを押すと、録音一時停止状態になります。録音を再開するときはもう一度押します。

録音の停止



停止/取出しボタンを押します。

録音レベルについて

- 本機は録音するレベルを自動的に調節します。
- イコライザーパターンは再生時のみ効果があり、イコライザー効果のある録音をすることはできません。

ビートキャンセル(R.I.F)切換ボタンについて



AM放送を録音するとき、録音一時停止状態で放送に「ピー」というビート音が入っている場合は、このボタンでR.I.Fを切り換え(ディスプレイのkHzが点灯し続けているか、点滅しているかで表示されます。)、ビート音が小さくなる方を選んでください。
ビート音は受信周波数によって変わりますので、最適な方を選んでください。

録音内容を消去するには

録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。

- ファンクション切換ボタンを「テープ」にして録音の操作を行ないます。(この時、TAPE1は再生状態にしないでください。)

録音に関するご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音し、正常に録音されていることを確認してください。
- ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機でハイポジションテープおよびメタルテープの録音はできません。

録音時のご注意

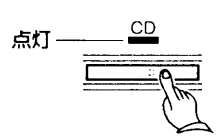
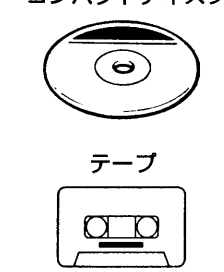
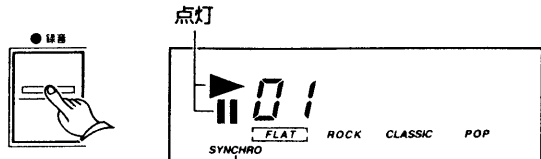
カセットテープの巻き初めと終わりの部分には透明または半透明のリーダーテープがあります。この部分には録音できません。あらかじめ鉛筆などを使って巻き上げておくと、頭切れの無い録音ができます。

著作権について

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(50ページ参照)

録音の便利な使いかた

ワンタッチでディスクを録音するには…CDシンクロ録音

1 ファンクションを「CD」にする。 	2 ディスクとテープをセットする。 	3 CDシンクロ録音を始める。  CDシンクロ録音インジケータ点灯 リーダーテープ部を送るため約5秒間テープを無録音状態で送った後、ディスクの演奏とテープの録音が同時に始まります。
--	---	--

CDシンクロ録音を止めるには

停止/取出しボタンと停止/取消しボタンを押します。(CDシンクロ録音停止)

- 停止/取出しボタンを押しただけではCDは一時停止状態となりますので、必ず停止/取消しボタンを押してCDも停止させてください。
- テープの録音が先に終わると、CDの演奏は自動的に一時停止状態になります。

便利な使いかた

CDシンクロ録音中にテープの片面を録音終了すると、CDは一時停止状態となります。(CDシンクロ録音は解除されません。) その後テープを入れ換えて、TAPEの録音ボタンを押すと録音途中の曲の最初に戻ってCDシンクロ録音を続けることができます。

●CDをテープの両面に録音するとき、テープの片面の録音が終了したとき、テープを反対面に入れ換えれば、録音が中断された曲を最初からもう一度録音をすることができ便利です。

CDシンクロ録音時の付加機能

CDシンクロ録音を行なうとき、次の機能をはたかせることができます。設定は録音を始める前に行なってください。


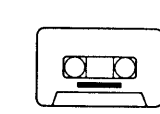


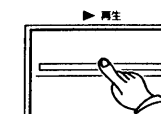
- プログラム演奏 25ページ **1** ~ **3** の操作
- ダイレクト演奏 24ページ **1** の操作

CDシンクロ録音時のご注意


- 一部のカセットテープにはリーダーテープ部が長いので、そのままCDシンクロ録音をすると曲の頭が欠けるものがあります。このようなテープをご使用になるときは▶再生ボタンを押して、2~3秒リーダーテープ部を送り、■/▲停止/取出しボタンを押してテープを停止させてから●録音ボタンを押してください。
- マイクロホンが接続してあるとマイクの音もミキシングして録音します。ディスクの音だけを録音するときは、マイクロホンのプラグを抜いてください。
- CDシンクロ録音中はファンクションを切り換えることはできません。
- CDシンクロ録音中は、CDのスキップ、サーチ、一時停止はできません。

ダビングのしかた

TAPE 1からTAPE 2へダビングします。
 高速ダビングにした場合は、通常の約半分の時間でダビングをすることができます。

1 ファンクション切換を「テープ」にし、TAPE 1に再生用、TAPE 2に録音用テープを入れる。   再生用のテープをTAPE 1に、録音用のテープをTAPE 2に入れます。 ●32ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。			
2 ダビングスピードを選ぶ。  <ul style="list-style-type: none"> ■高速: 高速ダビング時はダビングスピード切換スイッチをこの位置にします。 ■定速: 定速ダビング時はダビングスピード切換スイッチをこの位置にします。 	3 TAPE2を録音一時停止にする。  TAPE2の一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押します。	4 TAPE1を再生する。  TAPE2の一時停止ボタンが解除されダビングが始まります。	

ダビングを停止するには

 TAPE 2の停止/取出しボタン、TAPE 1の停止/取出しボタンを押します。

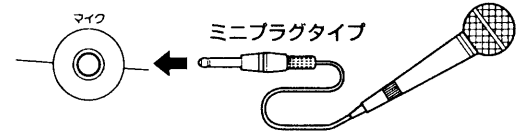
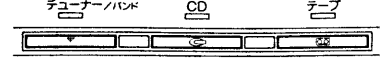

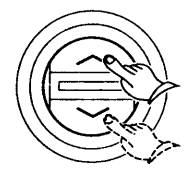
ダビング時のご注意

- ダビング中はダビングスピードを切り換えしないでください。
- ダビングの回数を重ねると、徐々に音質が悪くなる場合があります。
- 走行時間の異なるテープをTAPE 1、TAPE 2に使用するときは、再生・録音時間を確かめてダビングを行なってください。
- テレビの近くで高速ダビングを行うと、雑音が録音されることがあります。そのときはテレビの電源を切るか、テレビから離れた位置で行なってください。

テープ録音

マイクミキシングを楽しむには

マイクミキシングのしかた

1 マイクを接続する。	2 マイクミキシングするソースを選ぶ。
 <ul style="list-style-type: none"> ●マイク端子に差し込みます。 ●マイクの手元スイッチを「ON」にしてください。 	 <p>マイクミキシングしたいソースをファンクション切替ボタンで選び、演奏を始めます。</p>
3 マイクミキシングを始める。	4 音量を調節する。
 <p>ソースの演奏を始め、マイクミキシングを始めます。</p>	 <p>音量調節ボタンで音量を調節します。</p>

ご注意

- マイクミキシングのとき以外はマイクをマイク端子より取り外しておいてください。
- インピーダンス200Ω～600Ωのマイクを使用してください。
- 音量をあまり大きくしたり、マイクをスピーカーに近づけたりすると、ハウリング(ピーという音)を起こします。そのときには、次のようにしてください。
 1. マイクの向きを変えるか、スピーカーからなるべく離す。
 2. 単一指向性のマイク(まわりの音が入りにくいマイク)を使用する。

マイクミキシング録音のしかた

1 準備。	2 マイクミキシング録音開始。
<p>40 ページ</p> <p>「マイクミキシングのしかた」にしたがって一度マイクミキシングをしてみます。</p>	<p>36 ページ</p> <p>「録音してみましよう」の3～4にしたがって録音を開始し、同時にマイクミキシングを始めます。</p>

ご注意

高速ダビング時はマイクミキシング録音はできません。

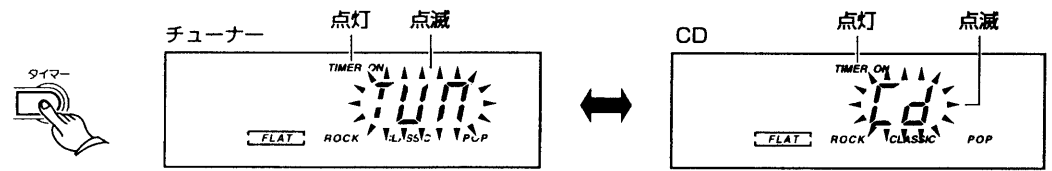
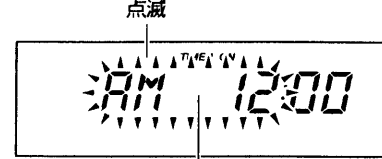
タイマー再生のしかた

タイマー予約をする前に

- タイマー機能は予約した時刻に自動的に再生を始めることができます。タイマーは動作後もタイマーの内容を記憶していますので、毎日同じ時刻に動作します。
- タイマーは電源オン/スタンバイに関係なく設定できます。ただし、本機を乾電池で使用している場合は、電源をオフにすると設定できません。
- タイマー動作中はタイマー設定はできません。
- タイマー予約した時刻に電源が入った状態にしているとタイマーは動作しません。
- タイマー予約は、現在時刻がセットされていないと設定できません。現在時刻が正しいことを確認してください。(16ページ「現在時刻の合わせかた」参照)

タイマー再生のしかた

たとえばタイマー再生開始時刻をAM(午前)7時20分、終了時刻をAM(午前)8時15分に合わせるには

1 準備。 <p>タイマー再生したいソースをセットしておきます。</p> <p>[CD] ディスク収納部にディスクをセットしておきます。</p> <p>[TUNER] 聴きたい放送局を受信しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●イコライザーパターンなどの音質調節機能は事前に合わせておいてください。
2 タイマー設定モードにする。 <p>タイマーボタンを1秒以上押し続けます。「TIMER ON」インジケータが点灯し、タイマー再生するソース(チューナーまたはCD)が交互に点滅します。</p>  <p>1秒以上押し続ける</p> <p>ディスプレイがタイマーモードのソースを交互に点滅表示します</p>
3 タイマー再生のソースを選ぶ。 <p>手順2で希望のタイマー再生のソースが点滅しているときにセットボタンを押します。</p> <p>(例)チューナーをタイマー再生のソースとしたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「TUN」が点滅中にセットボタンを押します。  <p>前回セットしたタイマー開始時刻</p>

マイクミキシング
その他

タイマー再生のしかた (つづき)

4 タイマー再生開始時刻合わせをする。

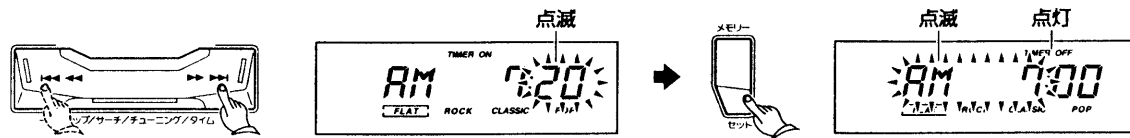
- 「時」を合わせる



「**◀◀◀◀**」または「**▶▶▶▶**」ボタンを押して、AM(午前)7時に合わせます。

セットボタンを押して、AM(午前)7時を設定します。「時」の設定が終わると次に「分」表示が点滅しますので「分」の設定を始めます。

- 「分」を合わせる

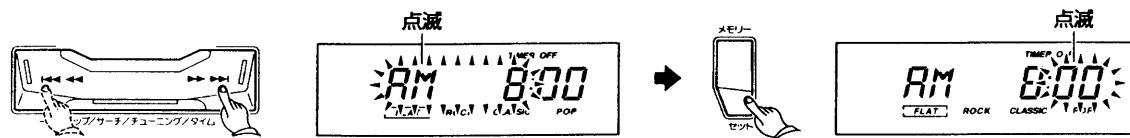


「**▶▶▶▶**」または「**◀◀◀◀**」ボタンを押して、20分に合わせます。

セットボタンを押して、20分を設定すると、ディスプレイに「TIMER OFF」表示が点灯し、「時」表示が点滅しますので次にタイマー終了時刻合わせを始めます。

5 タイマー再生終了時刻合わせをする。

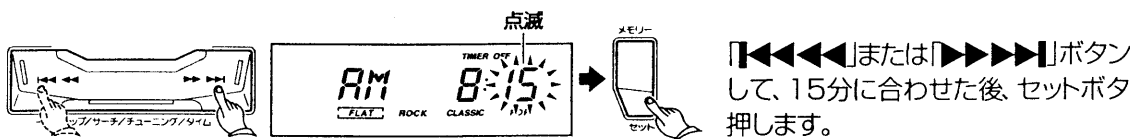
- 「時」を合わせる



「**◀◀◀◀**」または「**▶▶▶▶**」ボタンを押して、AM(午前)8時に合わせます。

セットボタンを押して、AM(午前)8時を設定します。「時」の設定が終わると次に「分」表示が点滅しますので「分」の設定を始めます。

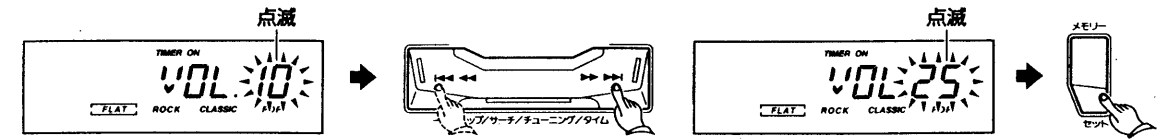
- 「分」を合わせる



「**◀◀◀◀**」または「**▶▶▶▶**」ボタンを押して、15分に合わせた後、セットボタンを押します。

タイマー再生のしかた

6 音量を設定する。



音量を決定した後、セットボタンを押します。

7 タイマー設定内容を表示。

タイマー再生をするソース、タイマー再生、開始、終了時刻、音量を表示後、タイマー再生時刻合わせをする前の状態に戻ります。

8 タイマー再生待機状態にする。



電源を切ります。

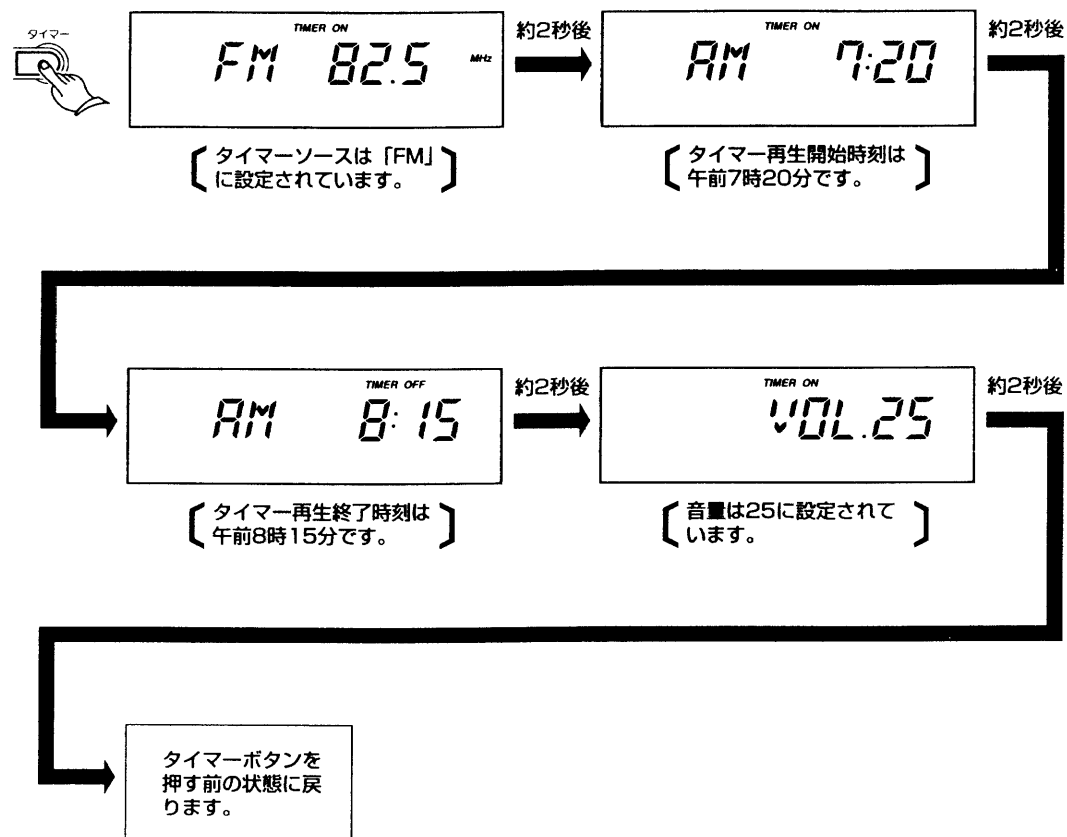
- 必ず電源を切り、「TIMER ON」インジケータを点灯させてください。消えている場合はタイマーボタンを押して点灯させてください。

タイマー再生のしかた (つづき)

タイマー再生設定内容の確認について

タイマーボタンを押すことにより、設定内容の確認をすることができます。
(「TIMER ON」インジケータ消灯時)

- 「TIMER ON」インジケータが点灯しているときは、タイマーボタンを押しタイマーインジケータを消灯させてから、もう一度タイマーボタンを押します。



タイマー再生の変更

- タイマー再生の手順にしたがってもう一度設定し直します。
- タイマー動作中は開始時刻、終了時刻の変更はできません。

タイマー再生の中断

下記の操作をするとタイマー再生を中断することができます。

電源ボタンを押して、電源を切る。

タイマーボタンを押して「TIMER ON」インジケータを消す。

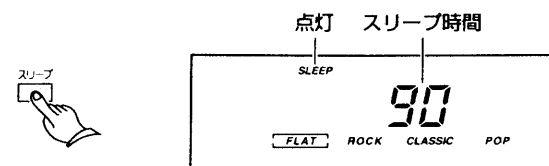
スリープタイマー

スリープタイマーは、セットした動作時間が過ぎると自動的に電源が切れます。聴きながらおやすみになるときなどにお使いください。

スリープタイマーの設定のしかた (リモコン操作のみ)

1 スリープ時間の設定。

電源ON状態でリモコンのスリープボタンを押します。スリープインジケータ「SLEEP」が点灯します。



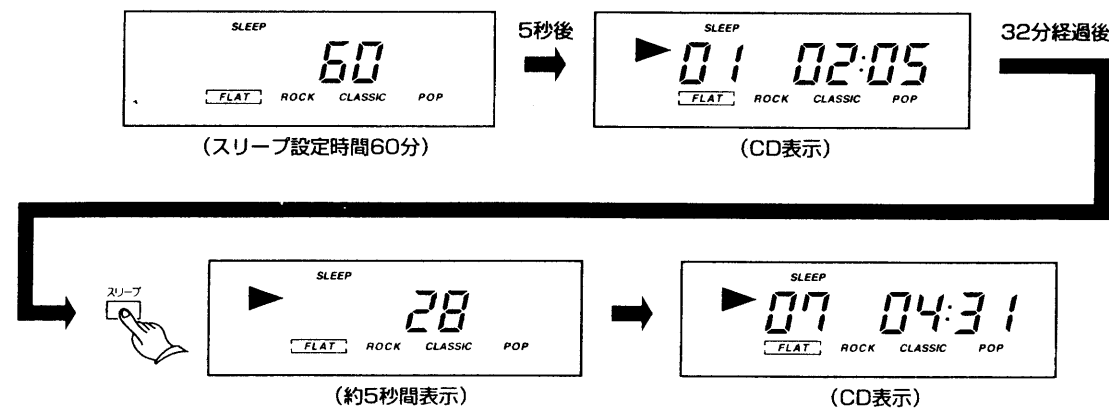
押す回数	表示	動作時間
1	90	1時間30分
2	80	1時間20分
3	70	1時間10分
4	60	1時間
5	50	50分
6	40	40分
7	30	30分
8	20	20分
9	10	10分
10		スリープタイマー解除

- スリープ時間をセット (時間を表示させる) して約5秒後にスリープタイマーが動作します。
- タイマー再生中はスリープタイマーは、はたらきません。

※11回押すと90に戻ります。

残り時間の確認と変更

スリープタイマー動作中に、スリープボタンを押すと、残り時間を約5秒間表示します。
例：CD再生中にスリープ動作時間を1時間に設定してあり、残り時間が28分の場合は



- 残り時間を表示している間に、再度スリープボタンを押せばスリープ時間を変更することができます。

スリープタイマーの取り消し

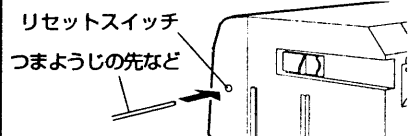
スリープボタンを押して残り時間表示を消すと、スリープインジケータが消えて、スリープタイマー動作が解除されます。

- 電源を切ってもスリープタイマーは解除されます。

その他

故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご連絡ください。なおアフターサービスについては49ページをご覧ください。

症状	原因と思われるところ	適切な処置	
放送・テープ・CDのとき	電源がONしない。	1. 電源コードがコンセントに確実に接続されていない。 2. 乾電池使用時にリモコンで電源をオンしようとしている。 3. ACコードが本体のACソケットに差し込まれたまま、乾電池で使用しようとしている。	1. 確実に接続してください。 2. 乾電池使用時はリモコンで電源をオンにはできません。本体の電源ボタンでオンさせてください。 3. ACコードが差し込まれたままでは、乾電池で動作させることはできません。ACコードを抜いてください。
	スピーカーから音が出ない。	1. 音量が最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。 3. スピーカーコードの接続が不完全。	1. 音量を調節する。 2. ヘッドホンのプラグをはずす。 3. 正しく接続する。(9ページ「接続のしかた」参照)
ボタンを操作したとき	ボタンを押しても正常に動作しない	1. 静電気などにより、内蔵のマイクロコンピュータが誤動作したことが考えられます。 2. ディスクの場合は、停止/取消しボタンを押してもう一度演奏し直してください。または電源を一旦切ってから再度入れてみてください。それでも変化がない場合は、本体右側面にあるリセットスイッチをつまようじの先などで3秒以上押した後、電源を入れてみてください。リセットスイッチを押すと今まで記憶されていた内容はすべて消えますので再度メモリーし直してください。	1. ディスクの場合は、停止/取消しボタンを押してもう一度演奏し直してください。または電源を一旦切ってから再度入れてみてください。それでも変化がない場合は、本体右側面にあるリセットスイッチをつまようじの先などで3秒以上押した後、電源を入れてみてください。リセットスイッチを押すと今まで記憶されていた内容はすべて消えますので再度メモリーし直してください。 
F M放送のとき	"シャー"という音が出る。とくにステレオ受信時にめだつ。	1. アンテナの入力電波が弱い。	1. ロッドアンテナの方向を変えてみる。
A M放送のとき	"ジー"という音が出る。とくに夜間や電波の弱い局ほど大きい。	1. セットの近くにある電気器具(テレビ・蛍光灯など)の影響を受けている。	1. 電気器具の電源を切ると、雑音が消えるときは、その器具とセットを離してください。
	"ブーン"という音(同調ハム)が出る。		1. 電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることもあります。
カセットデッキのとき	テープが回らない。	1. カセットテープが確実にセットされていない。	1. 確実にセットしてください。
	音が出ない。	1. ヘッドが汚れている。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。(7ページ「ヘッドの清掃」参照)
	音がふるえたり、途切れたりする。	1. カセットテープが段巻きになっている。 2. テープがいたんでいる。 3. テープ走行面(ヘッド・キャプスタン・ピンチローラー)が汚れている。	1. 早送り、巻戻しをして巻き直してください。(33ページ「テープが滑らかに走行しないときは」参照) 2. テープを交換してください。 3. 清掃を行ってください。(7ページ「ヘッドの清掃」参照)

故障かな？と考える前に

症状	原因と思われるところ	適切な処置	
カセットデッキのとき	音質が悪い。音がひずむ。	1. ヘッドが汚れている。 2. 傷・伸び・ねじれなどを起こしている不良テープを使用している。 3. ハイポジションテープ (TYPE II) またはメタルテープ (TYPE IV) を使用している。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。(7ページ「ヘッドの清掃」参照) 2. テープを交換してください。 3. ノーマルテープ (TYPE I) に交換してください。
	録音または消去ができない。	1. カセットテープのつめが折れている。 2. ヘッドが汚れている。 3. 傷・伸び・ねじれなどを起こしている不良テープを使用している。 4. メタルテープ (TYPE IV) を使用している。	1. セロハンテープなどで穴をふさいでください。 2. 清掃を行ってください。 3. テープを交換してください。 4. ノーマルテープ (TYPE I) に交換してください。[メタルテープ (TYPE IV) は録音、消去はできません。]
	雑音が多い。	1. ヘッドが汚れている。 2. 電気毛布、照明用の調光器などを近くで使用している。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。(7ページ「ヘッドの清掃」参照) 2. 影響を受けている電気器具の電源を切るか、離してください。
CD演奏のとき	音が出ない。	1. ディスクが裏返しになっている。 2. ディスクが汚れている。 3. 規格外のディスクを使用している。	1. ディスクを入れなおしてください。 2. ディスクの表面をきれいにふいてください。 3. ディスクを交換してみてください。
	演奏ボタンを押しても演奏しない。	1. ディスクが汚れている。 2. ディスクに傷がある。反っている。	1. ディスクの表面をきれいにふいてください。 2. ディスクを交換してください。
	音がひずむ。	1. 音量を大きくしすぎている。	1. 音量をしぼってください。
	ディスクの特定の場所が正常に演奏できない。音が途切れる。同じ場所をくり返す。	1. ディスクに傷などの欠陥がある。 2. ディスクが汚れている。	1. 「▶▶▶▶」ボタンを押し続けて傷のある場所をとばしてください。 2. ディスクの表面をきれいにふいてください。

本システムはマイコンを使った精密機器です。電磁雑音の大きいところでの使用は避けてください。このような所で使用すると、不具合な動作をすることがありますが、故障ではありません。万一、不具合な動作が発生した場合には、もう一度希望する操作をおこなってください。

仕様

■チューナー部

受信周波数	TV: 1~3CH FM: 76.0~90.0MHz (0.1MHzステップ) AM: 522~1,629 kHz (9kHzステップ)
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

■カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2chステレオ
テープ	ノーマル (TYPE I)
周波数特性	ノーマル: 60~13,000 Hz (EIAJ)

■アンプ部

入力端子	マイク入力: 適合インピーダンス 200~600Ω (3.5φミニジャック)
出力端子	ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック): 適合インピーダンス8~100Ω CD光デジタル出力端子
実用最大出力	7.5W+7.5W (EIAJ/AC)

■タイマー部

方式	デジタルクォーツクロック
表示方法	AM/PM12時間式、24時間式
タイマー精度	月差60秒以内

■CDプレーヤー部

オーディオチャンネル数	2チャンネル
周波数特性	20~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界 (±0.001%Wpeak) 以下
使用ディスク	コンパクトディスク (直径120mm/80mm)
ピックアップ	半導体レーザーピックアップ

■電源部・その他

電源 本体用	AC100V、50/60Hz DC 12V (別売単1乾電池×8個)
バックアップ用	DC6V (別売単3乾電池×4個)
消費電力	32W
電池接続時間	別売乾電池R20PU (SG) 使用時 約15時間 (EIAJ、FM録音時) 約3時間 (EIAJ、CDプレーヤー再生時) 約12ヶ月 (バックアップ用乾電池)

外形寸法	本体	: 276 (幅) × 245 (高さ) × 225 (奥行) mm (※1)
		: 284 (幅) × 245 (高さ) × 225 (奥行) mm (※2)
	スピーカー	: 164 (幅) × 245 (高さ) × 151 (奥行) mm (※2)
	システム	: 601 (幅) × 245 (高さ) × 225 (奥行) mm

※1: ジョイント部含まず
※2: ジョイント部含む

質量	6.7kg (乾電池含む)
使用スピーカー	10cm丸型×2 2cm丸型×2

■付属品

ワイヤレスリモコン (RB-CX7W)	1
単4形乾電池 (リモコン動作確認用)	2
電源コード	1

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証について

- この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なされないで、お買い求めの販売店にご相談ください。アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 形名: CX-7W
- ② 症状: できるだけくわしく
- ③ 道順: 付近の目印も

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙 (黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」) のご相談窓口にお問い合わせください。

著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC) 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-13 TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019) 652-3201 (代表) FAX (019) 652-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 長野支部 (業務地域 長野)
〒380-0823 長野市南千歳2-12-1 日本団体生命長野ビル
TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4767
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)
〒331-0852 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 上野支部 (業務地域 東京都23区の城東地区・茨城)
〒110-0005 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040
- 東京支部 (業務地域 東京都23区の東部・千葉)
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都23区の西部)
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部 (業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670
- 立川支部 (業務地域 東京都の市・郡部・山梨)
〒190-0012 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425) 29-1500 (代表) FAX (0425) 29-1515
- 横浜支部 (業務地域 神奈川)
〒231-0005 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡)
〒420-0857 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920-0961 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600-8008 京都市下京区四條通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北部)
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫)
〒650-0024 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730-0021 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760-0023 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099) 224-6211 (代表) FAX (099) 224-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その他